



## 2. 欠陥箇所

受理番号 105-110		学校 中学校		教科 技術・家庭	種目 技術・家庭 (技術分野)	学年 1-3
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	1	4 - 10	母親が子どものためにおにぎりをつくる時、大抵の場合、材料はあり合わせである。しかし、子どもの好みは熟知しているし、手の大きさ、口の大きさ、食べ方まですべて知り尽くしている	不正確である。 (マーケットインの説明として不正確である。)	3-(1)	
			。～母親はおにぎりの種類とつくり方を変える。まさしくこれは、「マーケットイン」そのものと言ってよいかもしれない。 [14行]「マーケットイン(消費者のニ			
			ーズ) 」 [229ページ3行]「マーケット・イン(消費者のニーズ) 」			
2	1	4 - 17	母親が子どものためにおにぎりをつくる時、大抵の場合、材料はあり合わせである。… 技術分野の学習では、五感を研ぎ澄まして「技術と設計」を学んでください。	生徒にとって理解し難い表現である。 (岩倉信弥氏のことばが区別されておらず、引用部分について理解し難い。)	3-(3)	
3	1	9	マーケットイン [14行]マーケットイン [229ページ3行]マーケット・イン	表記が不統一である。	3-(4)	
4	1 まえがき	10	創意工夫をかさね、	表記が不統一である。 (読点)	3-(4)	
5	1	10 - 13	それだけではない。お母さんは日夜創意工夫をかさね、子どもを驚かせてやろうと考えている。ある日の遠足で子どもがおにぎりをガブリとやると、初めての味に出会う。なんと中身の具は	不正確である。 (プロダクトアウトの説明として不正確である。)	3-(1)	
			、ウイナーソーセージ。子どもはさっそく友達に自慢した。これぞまさしく「プロダクトアウト」である。 [11～12行]「プロダクトアウト(生産者の視点) 」			
			[229ページ3～4行]「プロダクト・アウト(生産者の視点) 」			
6	1	12 - 13	プロダクトアウト [14行]プロダクトアウト [229ページ3行]プロダクト・アウト	表記が不統一である。	3-(4)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 2. 欠陥箇所

受理番号 105-110		学校 中学校		教科 技術・家庭	種目 技術・家庭 (技術分野)	学年 1-3
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
7	3 目次	右段	5章 8. (1)人口知能の活用……220	誤記である。	3-(2)	
8	5	表	「科学者」と「技術者」の表全体	生徒にとって理解し難い表である。 (科学者と技術者の何を対比しているのか理解し難い。)	3-(3)	
9	5	2	科学技術基本法	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (現在の法律名について誤解するおそれがある。)	3-(3)	
10	5	3 - 4	科学技術基本計画	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (現在の計画名について誤解するおそれがある。)	3-(3)	
11	6	中段中	10坪足らず	誤りである。	3-(1)	
12	6	中段中	2020年5月には	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (期間が明確でなく理解し難い。)	3-(3)	
13	6	中段右	約1064.2億食が消費されたとされている。	学習上必要な出典が示されていない。	2-(10)	
14	6	20	自動化 (以下 21行ほか 自働化)	表記が不統一である。	3-(4)	
15	6	下段左	リードタイム	生徒にとって理解し難い表現である。 (説明がなく理解し難い。)	3-(3)	
16	7	下段中	気候の温暖化	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (一般的な用語と誤解する)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 2. 欠陥箇所

受理番号 105-110		学校 中学校		教科 技術・家庭		種目 技術・家庭（技術分野）		学年 1-3	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
17	8 -	9	3. 先人・先輩たちの言葉 全体	学習上必要な出典が示されていない。	2-(10)				
18	10	10	評価までの各段階で評価と修正・改善を行います。 [同ページ 中段 図 右付近] 「評価と修正・改善」の囲みから「結	生徒にとって理解し難い表現，図である。 （「結果の評価」を評価するとはどのようなことか理解し難い。）	3-(3)				
			果の評価」の囲みへの矢印						
19	10 中段	図	[中央付近] 設計 開発	生徒にとって理解し難い表現である。 （9行の「設計・計画」に照らして「開発」は理解し難い。）	3-(3)				
20	12	下段右 図	全体	生徒にとって理解し難い図である。 （「設計情報の創造」「設計情報の転写」「設計情報の対顧客発信」「設計情報を消費する」「媒体」の語句は理解し難い。）	3-(3)				
21	12	18 -	例えば、たい焼きは、焼き型とレシピという設計情報が、生地という媒体に転写されています。このように製品は、設計情報と材料などの媒体との組み合わせからなってい	生徒にとって理解し難い表現である。 （「生地という媒体に転写される。」「媒体との組み合わせ」「材料の上に転写されます。」は理解し難い。）	3-(3)				
			ます。製品には必ず設計図があり、その設計情報が材料の上に転写されます。						
22	14	上段中	私たち人間が、作物や家畜などの生物の世話をし、自分たちの生活に役立てることを生物育成といいます。 [76ページ4～5行]私たち人間が、作物や家畜、水産生物などの生物を育成し	生徒にとって理解し難い表現である。 （自分たちの生活に役立てることまでを生物育成ということが理解し難い。）	3-(3)				
			て、自分たちの生活に役立てることを生物育成といいます。						
23	14	中段左	[計画 作物の栽培・育林]作物の規則性 [育成 作物の栽培・育林]整地 [計画 家畜の飼育]地域環境 [廃棄 家畜の飼育]病原菌に感染した	生徒にとって理解し難い表現である。 （どこに記載があるのかが理解し難い。）	3-(3)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 2. 欠陥箇所

受理番号 105-110		学校 中学校		教科 技術・家庭	種目 技術・家庭 (技術分野)	学年 1-3
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
			家畜の処理 [計画 水産生物の栽培]地域環境 [育成 水産生物の栽培]養殖環境の管理 [育成 水産生物の栽培]魚介類、藻類			
			の食性 [廃棄 水産生物の栽培]増殖技術			
24	14	中段左	[計画 作物の栽培・育林]作業計画表 [76ページ中段右]育成計画 [94ページ16行]栽培 [94ページ17行]育成 [97ページ4行]育成計画	生徒にとって理解し難い表現である。 (「作業計画表」と「栽培計画表」, 「育成計画」と「栽培計画」および「栽培」と「育成」の使い分け方が理解し難い。)	3-(3)	
			[97ページ5行]育成計画 [97ページ表 ③計画を立てる]栽培計画 [97ページ表 ③計画を立てる]栽培計画表			
			[97ページ表 ④栽培する]栽培計画 [98ページ1行]栽培計画 [98ページ3行]栽培計画表 [98ページ3行]栽培計画 [98ページ中段右]栽培計画表の例			
			[98ページ上段表]栽培計画表 [106ページ5行]栽培計画 [107ページ8行]栽培計画 [109ページ10行]栽培計画 [110ページ10行]栽培計画			
			[111ページ8行]栽培計画 [114ページ2行]育成計画			
25	14	中段左	[育成 作物の栽培・育林]育成環境の管理技術 整地 施肥 種まき(種まきのしかた、種まき方法の種類、植物を増やす方法など) 作物の管理技術(育林の場合は苗木づくり) 定植	生徒にとって理解し難い表現である。 (「[77ページ6~7行]「生物育成の技術には、作物の特性や家畜、水産生物の習性や成長段階に合わせて成長を管理する技術と生物が成長しやすいように環境を調節する技術があります。」との関係が理解し	3-(3)	
			作物の管理技術、植林 除草(育林の場合は下草刈り、間伐、枝打ち) 病気や害虫に侵されにくい育成方法 薬品の使用量を少なくした病気や害虫の防除方法 施肥(追肥) かん水	難い。)		
			[育成 家畜の飼育]温度調節 飼育環境の管理技術 給餌 家畜の管理技術(2か所) 除ふん 給水 [育成 水産生物の栽培]養殖環境の管理 養殖技術 増殖技術 移植、放流			

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 2. 欠陥箇所

受理番号 105-110		学校 中学校		教科 技術・家庭	種目 技術・家庭 (技術分野)	学年 1-3
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
			[廃棄 水産生物の栽培]増殖技術 [92ページ17～18行]水産生物を育てる技術には、放流などによって水産生物を増殖させる増殖技術や、養殖環境の管理や給餌などによって水産生物を管			
			理する養殖技術があります。 [92ページ19～24行]①増殖技術 魚介類は、～できるようになります。 [93ページ1～5行]②移植技術 もともとそこにいなかったり～移植といいま			
			す。放流も移植の一部です。移植は～注意する必要があります。 [93ページ6～10行]③養殖技術 水産生物を～養殖する場合があります。			
26	14	中段左	[育成 作物の栽培・育林]作物の管理技術 (育林の場合は苗木づくり)	生徒にとって理解し難い表現である。 (作物の栽培の場合の記載がなく理解し難い。)	3-(3)	
27	14	下段左	[育成 作物の栽培・育林]薬品 [81ページ8行]薬剤 [85ページ19行]農薬や殺虫剤 [85ページ22～23行]農薬 [86ページ24行]農薬	生徒にとって理解し難い表現である。 (「薬品」「薬剤」「農薬」「殺虫剤」の使い分け方が理解し難い。)	3-(3)	
			[94ページ19行]農薬 [95ページ11行]農薬 [97ページ表 ①問題を発見する]農薬 [97ページ表 ②課題を設定する]農薬 [99ページ2行]薬品			
			[99ページ7行]薬品 [99ページ12行]薬品 [99ページ上段右 図]薬品(3か所) [100ページ15行]農薬 [101ページ6行]薬品			
			[101ページ11行]農薬や殺虫剤などの薬品 [101ページ12行]薬品(2か所) [101ページ13行]農薬 [101ページ18行]農薬			
			[117ページ18行]農薬 [117ページ19行]農薬(2か所)			
28	14	中段中	[育成 家畜の飼育]家畜の管理技術(2か所)	生徒にとって理解し難い表現である。 (2か所に「家畜の管理技術」とだけ記載されていることが理解し難い。)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 2. 欠陥箇所

受理番号 105-110		学校 中学校		教科 技術・家庭		種目 技術・家庭 (技術分野)		学年 1-3	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
29	14	中段右	[育成 水産生物の栽培]増殖技術 [廃棄 水産生物の栽培]増殖技術	生徒にとって理解し難い表現である。 (2か所に「増殖技術」とだけ記載されていることおよび廃棄に「増殖技術」が記載されていることが理解し難い。)	3-(3)				
30	15	2	力学的エネルギー [同ページ 下段 表] 力学的エネルギー	表記が不統一である。	3-(4)				
			[124ページ 5行] 力学的エネルギー  [124ページ 上段 図] 力学的エネルギー						
			[131ページ 22行] 運動エネルギー  [169ページ 下段 図 左上の吹き出						
			し] 運動エネルギー						
31	17	12	計画から改善までを1つのサイクルの ことをいいます。	生徒にとって理解し難い表現である。 (どのようなことか理解し難い。)	3-(3)				
32	18	24	Recycle(リペア)	誤記である。	3-(2)				
33	19	1	12. 統合的な学習	誤りである。 (以下の本文の内容、2ページの左段の15行の「12.用語・単位などについて」に照らして誤りである。)	3-(1)				
34	19	2	「JIS規格」は、日本工業規格のこと で [140ページ 2-3行] JIS規格 (日本産業規格)	不正確である。 (155ページの2-3行の「JIS (日本産業規格)」に照らして不正確である。)	3-(1)				
			[142ページ 下段 囲み 調べてみよう] JIS規格						

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 2. 欠陥箇所

受理番号 105-110		学校 中学校		教科 技術・家庭		種目 技術・家庭 (技術分野)		学年 1-3	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
			[143ページ 8行] JIS規格  [230ページ 左段 13行] JIS規格						
35	19 中段	表	[接頭辞の表] $\mu$	表記の基準によっていない。 (SI)	3-(4)				
36	19	6	次の単位を使って数字を表しています。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「数字を表しています」の表現が理解し難い。)	3-(3)				
37	22	3 上囲み	粘ねん土	誤りである。	3-(1)				
38	25	1	します。	誤記である。 (インデント)	3-(2)				
39	27	上図	全体	生徒にとって理解し難い図である。 (本文に記載の「製鉄」「製鋼」が図に示されていないため、理解し難い。)	3-(3)				
40	27	12	Cアングルと呼ばれる溝形鋼	誤りである。 (Cアングル)	3-(1)				
41	28	17 - 18	熱硬化性プラスチックは、リサイクルしやすいという利点があることから、	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (熱硬化性プラスチックは、熱可塑性プラスチックと比較してリサイクルが困難である。)	3-(3)				
42	29	上表・ 下表	用途例 特性	誤記である。 (「用途例」「特性」の記載が逆である。)	3-(2)				
43	29	上表	熱可塑性プラスチック ナイロン樹脂 「機械特性に優れている」	生徒にとって理解し難い表現である。 (「機械特性に優れている」は理解し難い。)	3-(3)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 2. 欠陥箇所

受理番号 105-110		学校 中学校		教科 技術・家庭		種目 技術・家庭（技術分野）		学年 1-3	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
44	30	17 - 18	ハニカム構造は、トラス構造と比べると強度は劣りますが、柔軟な構造であり、	生徒にとって理解し難い表現である。 (ハニカム構造が、どのように柔軟な構造であるか理解し難い。)	3-(3)				
45	32	5 - 13	<発展>の記述及び図	学習指導要領に示す内容を発展的な学習内容として扱っている。 (内容A(1)イの「技術に込められた問題解決の工夫について考えること。」)	2-(15)				
46	33	表	表の中のタイトル 加工名称	誤記である。 (表の中のタイトル「加工名称」(2箇所))	3-(2)				
47	33	表	加工名称(右)③ 「3Dプリンタ」 「レーザーカッタ」	生徒にとって理解し難い表現である。 (接合加工とするのは理解し難い。)	3-(3)				
48	33	表	加工名称(右)④ 「焼入れ・焼戻し・焼なまし・焼ならし・メッキ加工」	不正確である。 (「焼入れ・焼戻し・焼なまし・焼ならし・メッキ加工」を、特殊加工とするのは不正確である。)	3-(1)				
49	33	表	加工名称(右)⑤ 「自動車 人工芝 食品包装用フィルム」	生徒にとって理解し難い表現である。 (自動車, 人工芝, 食品包装用フィルムを, 加工名称とするのは理解し難い。)	3-(3)				
50	36	4 12	[4行目]「目標」と, [12行目]次に,	表記が不統一である。 (読点)	3-(4)				
51	36	10	考え、,	誤記である。 (,)	3-(2)				
52	38	中段 図・下 段図	正投影図の面の考え方(図全体)	不正確である。 (中段①から③の平面図及び下段①から③の平面図において、それぞれ同じ図形を示している部分の面積が違う。)	3-(1)				
53	39	8	工業標準化法	誤りである。	3-(1)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 2. 欠陥箇所

受理番号 105-110		学校 中学校		教科 技術・家庭		種目 技術・家庭 (技術分野)		学年 1-3	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
54	39	9	日本工業標準調査会	誤りである。	3-(1)				
55	39	15	製作図画像を入れる (マルチボード説明書作品例を加工する)	生徒にとって理解し難い表現である。 (「製作図画像」「マルチボード説明書作品例」の説明がなく、「線」との関係性も不明確のため、理解し難い。)	3-(3)				
56	40	中段左図	Φ15深さ20	不正確である。 (Φ)	3-(1)				
57	43	1	工作機械の指導前点検を行う。	誤記である。 (指導前点検)	3-(2)				
58	45	18	板材に円や円をかくときは、	生徒にとって理解し難い表現である。	3-(3)				
59	47	2 - 5	(ウ) 工作椅子や・・・。 (エ) 専用の箱型木口挽き台で・・・。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (本文は、右上の上下の図と位置が一致していないため、理解し難い。)	3-(3)				
60	47	7	刃わたりの“もと”	生徒にとって理解し難い表現である。 (どこが「もと」か理解し難い。)	3-(3)				
61	48	上段右図	全体	生徒にとって理解し難い図である。 (同ページの5行目に「刃止め金具(上)」と記載されているが、図に具体的な記載がないため、理解し難い。)	3-(3)				
62	49	12	。。	誤記である。	3-(2)				
63	49	15	プラスチック用の刃つけた	脱字である。	3-(2)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 2. 欠陥箇所

受理番号 105-110		学校 中学校		教科 技術・家庭	種目 技術・家庭 (技術分野)	学年 1-3
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
64	51	26	木端を下にして	生徒にとって理解し難い図である。 (かんなのどの部分が「木端」か理解し難い。)	3-(3)	
65	56	下図	タップ回し	誤植である。 (タップの「タ」の一部が見えない。)	3-(2)	
66	58	上図	ノギスの図 くちばし ジョー (あご) デップスパー	表記が不統一である。 (本文では「内側用ジョウ」「外側用ジョウ」「デ ップスパー」と記載されており、表記が不統一である 。)	3-(4)	
67	59	下表	仮組み立て 説明 木端の基準面 (//のしるし) が前面に くるよう注意しながら確かめる。	生徒が自ら活動を行えるよう適切な配慮がされてい ない。 (本文の「木端の基準面 (//のしるし)」が図に記 載されていないため、適切な配慮がされていない。 )	2-(14)	
68	60	11	頭部は丸頭や平頭があります。	表記が不統一である。 (本文では「丸頭」「平頭」と記載されているが、 図では「丸」「平」となっている。)	3-(4)	
69	62	5	1. 6 倍	誤りである。	3-(1)	
70	62	10	フラックス	生徒にとって理解し難い表現である。 (説明がなく理解し難い。)	3-(3)	
71	63	14 - 16	スプレー缶を塗装面から 3 ~ 20 cm はなして、・・・ふきつけます。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (スプレー缶を塗装面から 3 cm 離すことが一般的 と誤解する。)	3-(3)	
72	65	表	②課題を設定する 「課題を解決する方法を設定する。」	生徒にとって理解し難い表現である。 (本文の「問題を解決するために、やるべきことが 課題です。課題を設定するときは新しい発想を生み 出して、友だちと協力しながら問題の解決に取り組 みましよう。」と整合しておらず、理解し難い。)	3-(3)	
73	66	6 - 10	材料 (全体)	不正確である。 (p67●アルミジョイントの加工の左図「皿ボルト 1 本」が示されていない。)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 2. 欠陥箇所

受理番号 105-110		学校 中学校		教科 技術・家庭		種目 技術・家庭 (技術分野)		学年 1-3	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
74	67	3 - 4	材料取り図、部品図、完成図、製作に必要な材料、製作工程を設計図にまとめてみよう。	生徒にとって理解し難い表現である。 (同ページ右図の「設計用紙の例」の内容と一致していないため、理解し難い。)	3-(3)				
75	67	⑥図	材料取り図 天板の長さ 110	誤りである。	3-(1)				
76	67	⑥図	図 天板の加工 (右上) 皿の角度	不正確である。	3-(1)				
77	68	中段図	全体 (完成形の写真)	生徒にとって理解し難い図である。 (同ページ8行目の「アクセサリやスマートフォンの充電器が散らかっている」という「問題の発見」に対応する製作品の写真として、理解し難い。)	3-(3)				
78	69	2	⑤設計 [2行目]	生徒にとって理解し難い表現である。 (⑥「けがき、材料取り」の材料の幅と比較し、板材が幅が大きい。)	3-(3)				
79	69	4 - 5	材料取り図、部品図、完成図、製作に必要な材料、製作工程を設計図にまとめてみよう。	生徒にとって理解し難い表現である。 (同ページ右図の「設計用紙の例」の内容と一致していないため、理解し難い。)	3-(3)				
80	69	⑥図	●けがき、材料取り 右図全体	不正確である。 (同ページの「部品の加工」の図「板材の加工」の「1A」「1B」に、三角部の一つの角を取ることが記載されているが、図には示されていない。)	3-(1)				
81	69	⑥図	●組み立て・仕上げ ロータスパイブ用ビス ロータスパイブ	表記が不統一である。 (p68下段囲みの材料及び同ページ⑥●部品の加工には「アルミパイブ」と記載されている。)	3-(4)				
82	70	中段図	写真	生徒にとって理解し難い図である。 (p70「やってみよう (木材を使って製作したラックに、金属やプラスチックを利用して、小物かけやスタンドなどの機能を追加してみよう。)」と異なる。)	3-(3)				
83	70	10	レーザーカッタ (超音波加工機)	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (「レーザーカッタ」が「超音波加工機」であると誤解するおそれがある。)	3-(3)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 2. 欠陥箇所

受理番号 105-110		学校 中学校		教科 技術・家庭		種目 技術・家庭（技術分野）		学年 1-3	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
84	71	ページ全体	5. 技術の概念を理解しよう（全体）	全体として系統的に構成されていない。 （トレード・オフと3Rの関係性の説明がされていない。）	2-(12)				
85	71	18	カドミウム	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （カドミウムの除去について）	3-(3)				
86	71	22 - 25	都市でごみとして・・・都市鉱山とよぶことがあります。	生徒にとって理解し難い表現である。 （「都市鉱山」からリデュースの考え方へのつながりについて理解し難い。）	3-(3)				
87	72	17 - 18	マイクロプラスチックが環境汚染の一因となっているマイナス面があります。	生徒にとって理解し難い表現である。 （15行目から18行名の文において、「マイクロプラスチック」とのつながりが理解し難い。）	3-(3)				
88	73	表	EU（欧州連合） 一部プラスチック製品の流通を禁止する措置を提案	不正確である。 （禁止する措置を提案）	3-(1)				
89	76	5	生物育成の技術には、作物の栽培、畜産、水産、林業などがあり、	生徒にとって理解し難い表現である。 （作物の栽培、畜産、水産、林業などが生物育成の技術ということが理解し難い。）	3-(3)				
90	76	6	食べ物 [77ページ4行]食料 [77ページ8行]食料 [77ページ中段左 図]食料 [117ページ14行]食物	生徒にとって理解し難い表現である。 （「食べ物」「食料」「食物」の使い分け方が理解し難い。）	3-(3)				
			[117ページ18行]食物 [119ページ2行]食料 [119ページ13行]食物 [119ページ20行]食物(2か所) [119ページ21行]食物						
91	77	9	品種	生徒にとって理解し難い表現である。 （説明がなく理解し難い。）	3-(3)				
92	78	上段左	[成長を管理する技術]与える水の量を変えたりする。 [79ページ上段右 成長を管理する技術]根から水分を吸収するため、水は根元に与える。	生徒にとって理解し難い表現である。 （[79ページ 下段中 環境を調節する技術 土壌的要素]「水分」からみて成長を管理する技術ということが理解し難い。）	3-(3)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 2. 欠陥箇所

受理番号 105-110		学校 中学校		教科 技術・家庭	種目 技術・家庭 (技術分野)	学年 1-3
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
93	79	上段右	大きな実にするため、わき芽を摘み取って、残した実に養分を送る。	生徒にとって理解し難い表現である。 (実は摘み取っていないのに「残した実」が理解し難い。)	3-(3)	
94	79	上段右	わき芽	生徒にとって理解し難い表現である。 (説明がなく理解し難い。)	3-(3)	
95	79	中段	[環境を調節する技術 気象的要素]気温、温度	生徒にとって理解し難い表現である。 (「気温」と「温度」の使い分け方が理解し難い。)	3-(3)	
96	79	中段	[環境を調節する技術 気象的要素]作物は、日光を受けて光合成を行うことで健康に育つ。	生徒にとって理解し難い表現である。 (技術に関する記載がなく理解し難い。)	3-(3)	
97	80	3 - 4	土壌を使わず作物に必要な栄養素を溶かした培養液を使用する水耕栽培	不正確である。 (水耕栽培の説明として不正確である。)	3-(1)	
98	80	4	ロックウール ピートモス [12行]腐葉土	生徒にとって理解し難い表現である。 (説明がなく理解し難い。)	3-(3)	
99	80	12	家畜のふん [82ページ 下段表]発酵鶏ふん [92ページ 上段図]鶏糞 [94ページ20～21行]牛糞堆肥・鶏糞堆肥	生徒にとって理解し難い表現である。 (「ふん」と「糞」, 「発酵鶏ふん」と「鶏糞堆肥」の使い分け方が理解し難い。)	3-(3)	
100	80	12 - 13	家畜のふんなどを発酵させた堆肥 [82ページ]全体 [94ページ20～21行]牛糞堆肥・鶏糞堆肥	生徒にとって理解し難い表現である。 ([82ページ]「全体」に「堆肥」「牛糞堆肥・鶏糞堆肥」の説明がなく理解し難い。)	3-(3)	
101	80	14	石灰 [15行]石灰 [81ページ表タイトル]石灰 [81ページ6行]石灰 [81ページ17行]石灰	不正確である。	3-(1)	
			[99ページ表 平ぐわ]石灰			

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 2. 欠陥箇所

受理番号 105-110		学校 中学校		教科 技術・家庭	種目 技術・家庭 (技術分野)	学年 1-3
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
102	81	4 - 6	毎年同じ場所で栽培すると病害虫が発生しやすくなる場合があります。これを連作障害といいます。	不正確である。 (連作障害の説明として不正確である。)	3-(1)	
103	81	6 - 7	同じ場所に性質の異なる作物を順に栽培する輪作、	不正確である。 (輪作の説明として不正確である。)	3-(1)	
104	81	13	PH [14行]PH計 [中段右 図]PH [101ページ表](PH)計 酸度(PH)	不正確である。	3-(1)	
105	81	17	パーミキュライト	生徒にとって理解し難い表現である。 (説明がなく理解し難い。)	3-(3)	
106	81	上段表	アルカリ分の含有量 80%以上 60%以上 55%以上 20~40%	生徒にとって理解し難い表現である。 (含有量を%と記載することが理解し難い。)	3-(3)	
107	81	上段表	[苦土石灰]55%以上	誤りである。 (公定規格と異なる。)	3-(1)	
108	81	中段図	6.0から6.5の間の図	生徒にとって理解し難い図である。 (カボチャ、インゲン、小カブの方がピーマン、キュウリ、トマト、ナスより酸性を好むのか、同じ程度であるのか理解し難い。)	3-(3)	
109	81	中段図	小カブ 長ネギ	不正確である。 (作物名の表記として不正確である。)	3-(1)	
110	82	1	肥料には、化成肥料と有機質肥料があります。 [94ページ20行]化成肥料	誤りである。 (化成肥料)	3-(1)	
111	82	1 - 2	化成肥料は、鉱物などの原料から化学的に合成してつくられた肥料 [82ページ5~6行]一般的には、チッ素、リン、カリウムのうち1種類を含んでいるものを単肥といい、2種類以上	不正確である。 (化成肥料の説明や分類が不正確である。)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 2. 欠陥箇所

受理番号 105-110		学校 中学校		教科 技術・家庭		種目 技術・家庭 (技術分野)		学年 1-3	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
			を含んでいるものを複合肥料といます。						
112	82	上段表	[チッ素(N)]葉や根の成長に役立つ。 [リン(P)]成長のさかんな部分(花、果実、種など)の発育に役立つ。 [カリウム(K)]光合成をさかんにし、果実や根をよく育てる。	生徒にとって理解し難い表である。 (表間でチッ素、リン、カリウムのはたらきが異なり理解し難い。)	3-(3)				
			[82ページ下の表] [油かす チッ素]茎や葉の成長促進 [魚ふん チッ素、リン]果実、葉の成長促進 [発酵鶏ふん チッ素、リン、カリウ						
			ム]果実の成長促進 [骨粉 リン]花や果実、根の成長促進 [草木灰 カリウム]根の成長促進 [有機石灰 チッ素、リン]土壌の酸度調整						
113	82	上段表	[リン(P)]成長のさかんな部分(花、果実、種など)の発育に役立つ。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (発育だけに役立つと誤解する。)	3-(3)				
114	82	下段表	主な肥料	生徒にとって理解し難い表である。 (「主な肥料」と[82ページ1行]「肥料には、化成肥料と有機質肥料があります。」との関係および「主な肥料」と[80ページ13行]「堆肥」との関係が理解し難い。)	3-(3)				
115	82	下段表	[油かす 特徴]土の中の微生物により分解され、ゆっくりと効果が現れるので、元肥に利用する。また、土壌微生物を増やし、土の団粒化を促す土づくりにも効果がある。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (油かすだけの特徴と誤解する。)	3-(3)				
116	82	下段表	[発酵鶏ふん 特徴]特にリン酸が豊富。	表記が不統一である。 ([発酵鶏ふん 主成分]「リン」と表記が不統一である。)	3-(4)				
117	82	下段表	[骨粉 特徴]リンは、根や微生物の分泌物に少しずつ溶けて根から吸収されるため、効果が長続きする。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (骨粉だけの特徴と誤解する。)	3-(3)				
118	83	7	分球…親球の横に新しくついた子球を切り離して	生徒にとって理解し難い表現である。 (「親球」「子球」の説明がなく理解し難い。)	3-(3)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 2. 欠陥箇所

受理番号 105-110		学校 中学校		教科 技術・家庭		種目 技術・家庭 (技術分野)		学年 1-3	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
119	83	17	1列ずつ等間隔に種をまく方法です。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (必ず1列ずつ等間隔にまかなければならないと誤解する。)	3-(3)				
120	83	19	コメ [94ページ11～12行]コメの主な種類としては、食用米の白米、黒米、赤米や、酒づくりに使われる酒米や餌用のコメなどがあり、品種改良され、日本各	不正確である。 (「コメ」は作物名でない。)	3-(1)				
			地で栽培されています。 [100ページ9行]コメの収穫						
121	83	23	まいた種の間隔が狭くなるので、発芽後に間引きが必要です。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (必ず間引きを行う必要があると誤解する。)	3-(3)				
122	83	23	間引き	生徒にとって理解し難い表現である。 (説明がなく理解し難い。)	3-(3)				
123	83	26	株の一部を切りとり、土壌などに挿して発根させることを挿し木・挿し芽といいます。	生徒にとって理解し難い表現である。 (挿し木と挿し芽の違いの説明がなく理解し難い。)	3-(3)				
124	83	中段図	タネまき	表記が不統一である。 ([10行]「種まき」と表記が不統一である。)	3-(4)				
125	84	16 - 17	根に栄養分がじゅうぶんに行き渡るようになります。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (根だけと誤解する。)	3-(3)				
126	84	図	[摘芽]「わき芽→」の右側にある文字	誤記である。 (文字の右半分がない。)	3-(2)				
127	85	15	土の通気性を高めるために、作物の生育途中で浅くうねを耕すことを中耕といいます。 [99ページ下段 表 平ぐわ]中耕・土寄せ…土を耕してやわらかくしたり、□	生徒にとって理解し難い表現である。 (説明が異なり理解し難い。)	3-(3)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 2. 欠陥箇所

受理番号 105-110		学校 中学校		教科 技術・家庭		種目 技術・家庭 (技術分野)		学年 1-3	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
128	86	2 - 3	マリーゴールドの根から分泌される成分が土壌中の害虫の一種であるセンチュウを遠ざけ、	生徒が誤解するおそれのある表現である。(センチュウを遠ざける効果しかないと誤解する。)	3-(3)				
129	86	3 - 4	葉から発するにおいがアオムシやアブラムシなどの害虫がつくのを防ぐといった効果	生徒が誤解するおそれのある表現である。(葉から発するにおいだけが効果があり、アオムシやアブラムシに特に有効と誤解する。)	3-(3)				
130	87	3	ウドンコ [3行]根コブ病 [上段中写真]ウドンコ病 [上段右写真]根コブ病	不正確である。(病名の正式表記でない。)	3-(1)				
131	87	8 - 9	店頭で並んでいる作物の中には、完熟すると保存性が失われるものもあるため、店頭に並ぶまでの期間を考慮しながら完熟前に収穫します。	生徒が誤解するおそれのある表現である。(具体的な作物名がなく、完熟すると保存性が全くなると誤解する。)	3-(3)				
132	87	10 - 11	作物は収穫時と同じような状態で保存をすると、長く保存ができます。	生徒が誤解するおそれのある表現である。(収穫時と何が同じような状態であるかの説明がなく、全ての作物で長く保存できると誤解する。)	3-(3)				
133	87	12	養液栽培	生徒にとって理解し難い表現である。(説明がなく理解し難い。)	3-(3)				
134	87	13 - 14	土の中に残った作物の根などをふるいにかけて取り除いたりする	生徒が誤解するおそれのある表現である。(全ての栽培法で行うと誤解する。)	3-(3)				
135	88	中段図	間伐(10年目～15年目) 枝打ち(15～25年目)	生徒にとって理解し難い表現である。(実施時期の関係が理解し難い。)	3-(3)				
136	88	表	全体	誤りである。(人工林面積のデータではない。)	3-(1)				
137	89	2	帯のこ盤で縦に割る	生徒にとって理解し難い表現である。(どれが「帯のこ盤」であるのかおよび「縦に割る」の説明がなく理解し難い。)	3-(3)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 2. 欠陥箇所

受理番号 105-110		学校 中学校	教科 技術・家庭	種目 技術・家庭 (技術分野)	学年 1-3
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
138	89	3	自然乾燥の状態に戻す	生徒にとって理解し難い表現である。 (「自然乾燥の状態に戻す」が理解し難い。)	3-(3)
139	89	9	伐採した後は花粉の少ない樹種の苗木	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (花粉の少ない別の樹種の苗木だけと誤解する。)	3-(3)
140	90	5	気仙沼市湾	誤りである。	3-(1)
141	90	7 - 9	野生動物であったものを飼育し、繁殖させ、品種改良したものを家畜といいます。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (野生生物に品種があると誤解する。)	3-(3)
142	90	8	品種改良	生徒にとって理解し難い表現である。 (説明がなく理解し難い。)	3-(3)
143	90	18	家畜の活動に影響が出る最低・最高温度のことを生産環境限界温度という。	生徒にとって理解し難い表現である。 (全ての温度域で温度は家畜の活動に影響を及ぼしているため「活動に影響の出る最低・最高温度」が理解し難い。)	3-(3)
144	90	上段右	[写真]出典：林野庁webページ	不正確である。	3-(1)
145	91	2 - 3	サイレージ(乾草やトウモロコシなどの作物をサイロに入れて、空気中や草についている乳酸菌を利用して乳酸発酵させた餌)	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (乾草や[4行]「トウモロコシ」と同じトウモロコシなどをサイロに入れたものだけをサイレージという)と誤解する。)	3-(3)
146	91	4	トウモロコシやダイズ、米ぬか、オオムギ、トウモロコシなど、	生徒にとって理解し難い表現である。 (トウモロコシが重複して記載されていることが理解し難い。)	3-(3)
147	91	4	食物繊維	不正確である。 (畜産用語として不正確である。)	3-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 2. 欠陥箇所

受理番号 105-110		学校 中学校		教科 技術・家庭		種目 技術・家庭（技術分野）		学年 1-3	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
148	91	5 - 6	餌の与えすぎや不足は、家畜の成長に大きな影響を与えます。	生徒にとって理解し難い表現である。 (餌の与えすぎた場合の影響の記載がなく理解し難い。)	3-(3)				
149	91	6 - 7	発育段階に応じて必要な栄養分と繊維質などをバランスよく与えることが大切です。	生徒にとって理解し難い表現である。 (何がバランスがいいのかの説明がなく理解し難い。)	3-(3)				
150	91	6	必要な栄養分と繊維質など	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (繊維質が栄養分でないかと誤解する。)	3-(3)				
151	91	9 - 10	最近では、家畜のふん尿を有効活用する技術の開発も進んでいます。ふん尿をワラに混ぜて堆肥にしたり、	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (ふん尿回収後にワラと混ぜると誤解するおよびふん尿を堆肥することが、最近、進んだ技術の開発と誤解する。)	3-(3)				
152	91	15 - 16	近年では、人工授精や受精卵移植といった家畜の繁殖技術や家畜の餌・栄養管理技術の研究なども進んでいます。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (人工授精や受精卵移植が近年、進んでいる研究段階のものと誤解する。)	3-(3)				
153	91	15 - 16	家畜の餌・栄養管理技術の研究なども進んでいます。	生徒にとって理解し難い表現である。 (どのような研究が進んでいるのかの記載がなく、[13行]「⑤繁殖」の項目の中に記載してあることが理解し難い。)	3-(3)				
154	91	写真	洗浄・殺菌 [92ページ4行]・洗浄・殺菌…工場に集められた生乳を、洗浄・殺菌し、冷却します。	生徒にとって理解し難い表現である。 (生乳を洗浄することが理解し難い。)	3-(3)				
155	91	写真	検査→充填・出荷 [92ページ5～6行]・検査…できあがった牛乳の品質や衛生面、安全面について厳しく検査します。 ・充填・出荷…容器に牛乳を充填し、	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (一般的に検査してから充填すると誤解する。)	3-(3)				
			各地へ出荷します						
156	92	上段右	[図]選卵 入卵	生徒にとって理解し難い表現である。 (説明がなく理解し難い。)	3-(3)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 2. 欠陥箇所

受理番号 105-110		学校 中学校		教科 技術・家庭		種目 技術・家庭（技術分野）		学年 1-3	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
157	92	上段右	[図]エサ	表記が不統一である。 （[90ページ12行]「餌」と不統一である。）	3-(4)				
158	93	8 - 9	いかだ式で養殖します。また、ブリ、クルマエビ、タイなどは内湾域や網仕切りで養殖します。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （内湾域が養殖方法と誤解する。）	3-(3)				
159	93	13 - 14	ノリは、森の土壌から川へ溶け出して海に運ばれてくるチッ素、リンなどを食べて育ちます。	生徒にとって理解し難い表現である。 （ノリが食べることが理解し難い。）	3-(3)				
160	93	16	海水温が約24° 以上	誤記である。 （24° ）	3-(2)				
161	93	18 - 19	品種改良によって短時間で収穫できるノリが開発されるなど、環境変動に適応した品種の開発技術の研究が進められています。	生徒にとって理解し難い表現である。 （品種を開発するための技術の研究と誤解する。）	3-(3)				
162	93	中段中	[図]網仕切り式養殖	誤りである。	3-(1)				
163	93	中段右	[図]出典：農林水産省Webページ	不正確である。	3-(1)				
164	94 - 96		[2. 技術に込められた問題解決の工夫について考えよう]全体	生徒にとって理解し難い表現である。 （「技術に込められた問題解決の工夫について考えよう」との関係について理解し難い。）	3-(3)				
165	94	2	私たちの祖先は、約1万年前までは野生の植物や動物を採集・狩猟して生きていた	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （日本で約1万年前までと誤解する。）	3-(3)				
166	94	4 - 5	品種改良などによって安全性や栄養価を高めたりする技術を生み出してきました。	生徒にとって理解し難い表現である。 （品種改良などによって生み出された安全性や栄養価を高めたりする技術が何かの説明がなく理解し難い。）	3-(3)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 2. 欠陥箇所

受理番号 105-110		学校 中学校		教科 技術・家庭	種目 技術・家庭 (技術分野)	学年 1-3
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
167	94	11 - 12	コメの主な種類としては、食用米の白米、黒米、赤米や、酒づくりに使われる酒米や餌用のコメなどがあり、品種改良され、日本各地で栽培されています。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (黒米や赤米が一般的な食用米であり、黒米や赤米が白米と同様に品種改良され、日本各地で栽培されていると誤解する。)	3-(3)	
168	94	13 - 14	日本のイネの多くは水田で栽培されており、これを水稲といいます。イネは畑で栽培することもでき、これを陸稲といいます。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (全てのイネが畑で栽培することもできる陸稲であると誤解する。)	3-(3)	
169	94	15	玄米から糠を取り除くと白米になります。	不正確である。 (糠)	3-(1)	
170	94	15	白米になります。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 ([11行]「食用米の白米」の白米と同じものと誤解する。)	3-(3)	
171	94	16	イネの栽培の技術は、機械化や品種改良によって収穫量と品質が向上しました。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「イネの栽培の技術」と「機械化や品種改良によって収穫量と品質が向上しました。」との関係が理解し難い。)	3-(3)	
172	94	22 - 27	イネと多様な生きものを育み、コウノトリも住める豊かな文化、地域、環境づくりを目指す「コウノトリ育む農法(安全な農産物と生きものを同時に育む農法)」	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (作物としてはイネだけと誤解する)	3-(3)	
			[27~29行]収穫したイネは環境へ配慮している点が評価されています。			
173	94	下段右	[図]出典：JAたじまWebページ	不正確である。	3-(1)	
174	95	1 - 6	(2)トマトの品種改良 トマトの起源は、～栽培が広まりました。	生徒にとって理解し難い表現である。 (トマトの品種改良の記載がなく理解し難い。)	3-(3)	
175	95	17	発芽促進…温度・湿度などが管理された暗室に置き、根の生育と茎の伸長を促します。 [96ページ上段右]発芽促進	誤りである。 (発芽促進の説明ではない。)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 2. 欠陥箇所

受理番号 105-110		学校 中学校		教科 技術・家庭		種目 技術・家庭 (技術分野)		学年 1-3	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
176	95	17	根の生育と茎の伸長 [96ページ3行]エンドウの成長	生徒にとって理解し難い表現である。 (「生育」「伸長」「成長」の使い分け方が理解し難い。)	3-(3)				
177	96	1	ハウス	生徒にとって理解し難い表現である。 ([95ページ14行]「工場」との関係が理解し難い。)	3-(3)				
178	97	12	野菜の収穫時期、作物の品質と収穫量の向上	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (「野菜」と「作物」の使い分け方が理解し難い。)	3-(3)				
179	97	12 - 13	地球温暖化を防止するための作物の選択と利用	生徒にとって理解し難い表現である。 (どのような作物を選択・利用すれば地球温暖化が防止できるのかが理解し難い。)	3-(3)				
180	98	上段中	写真	特定の商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)				
181	99	18 - 19	金属製の用具・機械は、水洗いをして汚れを落とし、水気を拭き取り、さび止めのため潤滑油や刃物用油などを塗り、余分な油を拭き取って、倉庫で保管します。	生徒にとって理解し難い表現である。 (説明が異なり理解し難い。)	3-(3)				
			[101ページ8~9行]用具について土を落とし、さびないように十分に乾かしてから元の場所に片づける。刃物用油を塗っておくとさびにくい。						
182	99	下段	[表 平ぐわ うね立て]腹の部分	生徒にとって理解し難い表現である。 (説明がなく理解し難い。)	3-(3)				
183	100	10	ハサミ [106ページ表]園芸用はさみ [109ページ表]園芸用はさみ(2か所) [110ページ表]園芸用はさみ(2か所) [111ページ表]園芸用はさみ	生徒にとって理解し難い表現である。 (「ハサミ」と「園芸用はさみ」の使い分け方が理解し難い。)	3-(3)				
184	101	13 - 14	収穫後に消費することや環境への影響を考えて、農薬は農薬取締法による登録を受けたものを使います。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (使用できる農薬について誤解する。)	3-(3)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 2. 欠陥箇所

受理番号 105-110		学校 中学校		教科 技術・家庭	種目 技術・家庭（技術分野）	学年 1-3
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
185	102		[トマトの露地栽培]全体 [103ページ ナスの露地栽培]全体 [104ページ ホウレンソウの露地栽培]全体 [105ページ サツマイモの露地栽培]	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (元肥の記載がなく一般的には元肥は不要と誤解する。)	3-(3)	
			全体			
186	102	2 - 4	種まきから始める場合は、発芽してから定植できる大きさの苗に育つまで、50～60日かかります。苗を使う場合は、直径12～15cmのポットで育てます。 [103ページ2～4行]種まきから始める	生徒にとって理解し難い表現である。 (種まきから始める場合、何を使って育てるかの記載がなく理解し難い。)	3-(3)	
			場合は、発芽してから定植できる大きさの苗に育つまで、約90日かかります。苗を使う場合は、直径12～15cmのポットで1番花が開花するまで育てましょう。			
187	102	2 - 4	種まきから始める場合は、発芽してから定植できる大きさの苗に育つまで、50～60日かかります。苗を使う場合は、直径12～15cmのポットで育てます。 [上段右 栽培暦の図]全体	生徒にとって理解し難い表現、図である。 (図の栽培の期間が「種まきから始める場合」か「苗を使う場合」の説明がないことおよび栽培の記号がないのに収穫の記号が続くことが理解し難い。)	3-(3)	
			[103ページ2～4行]種まきから始める場合は、発芽してから定植できる大きさの苗に育つまで、約90日かかります。苗を使う場合は、直径12～15cmのポ			
			ットで1番花が開花するまで育てましょう。 [103ページ上段右 栽培暦の図]全体			
188	102	3 - 4	苗を使う場合は、直径12～15cmのポットで育てます。 [上段右 鉢植えの図]全体  [103ページ3～4行]苗を使う場合は、	生徒にとって理解し難い表現、図である。 (本文に図との関係の説明がなく理解し難い。)	3-(3)	
			直径12～15cmのポットで1番花が開花するまで育てましょう。 [103ページ上段右 鉢植えの図]全体			
189	102	7	朝霜の心配がない [103ページ7行]朝霜の心配がない	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (農業で「朝霜」というと誤解する。)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 2. 欠陥箇所

受理番号 105-110		学校 中学校		教科 技術・家庭		種目 技術・家庭 (技術分野)		学年 1-3	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
190	102	9 - 10	(一般的な露地栽培では5月上旬～中旬)に定植します。 [上段 図]全体  [103ページ8～9行] (一般的な露地栽培では5月上旬～中旬)、晴れた日の午前中に定植します。 [103ページ上段 図]全体	生徒にとって理解し難い表現, 図である。 (「一般的」と「冷涼地」「中間地」「暖地」との関係が理解し難い。)	3-(3)				
191	102	12 - 13	定植後は、水分と地温を確保するためにマルチングをします。 [中段右 定植後の図]全体  [103ページ11～12行]定植後は、水分と地温を確保するためにマルチングをします。 [中段右 定植後の図]全体	誤りである。 (定植後に図のようなマルチングをすることは誤りである。)	3-(1)				
192	102	中段右	生育適温 昼間20～25℃ 夜間8～13℃ [103ページ中段右]生育適温 昼間28～32℃ 夜間18～25℃ [107ページ5行]栽培適温:16～20℃  [108ページ下段表]栽培適温 15～20℃ 20～25℃ [109ページ7行]栽培適温:20～30℃ [110ページ7行]栽培適温:15～25℃ [111ページ5行]栽培適温:15℃以上	生徒にとって理解し難い表現である。 (「生育適温」と「栽培適温」の使い分け方が理解し難い。)	3-(3)				
193	102	下段右	図の上の紫色の線	生徒にとって理解し難い図である。 (説明がなく理解し難い。)	3-(3)				
194	103	16	敷きワラなどをして地温の上昇をやわらげ、	生徒にとって理解し難い表現である。 (「[11～12行]「地温を確保するためにマルチングをします。」との関係が理解し難い。)	3-(3)				
195	103	中段右	仮支柱立て 定植後、苗が風にゆれないように、50cmくらいの仮支柱を立てる [図]支柱	生徒にとって理解し難い表現, 図である。 (仮支柱と支柱の関係が理解し難い。)	3-(3)				
196	103	中段右	うね幅150～180cmの指示位置	誤りである。	3-(1)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 2. 欠陥箇所

受理番号 105-110		学校 中学校		教科 技術・家庭		種目 技術・家庭 (技術分野)		学年 1-3	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
197	103	下段左	主枝…一番太い幹から直接枝分かれした枝のこと。	誤りである。	3-(1)				
198	103	下段右	[図]②側枝を伸ばす ③側枝を伸ばす。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (伸ばした後も側枝という誤解する。)	3-(3)				
199	104	7 - 9	かぶせる土の厚さを一定にすることで、発芽後の生育のムラをなくすことができます。	生徒にとって理解し難い表現である。 (なぜ発芽後の生育のムラがなくなるかの説明がなく理解し難い。)	3-(3)				
200	104	18 - 19	収穫後に根は切り取ります。 [下段右 図]刈り取り収穫 地際から切り取り収穫する	生徒にとって理解し難い表現である。 (説明が異なり理解し難い。)	3-(3)				
201	104	上段左	発芽温度は15～20℃ [4行]ハウレンソウの発芽に適した温度はおおよそ15～20℃です。 [107ページ3行]発芽適温:20℃前後 [108ページ下段表]発芽適温 15～25	生徒にとって理解し難い表現である。 (「発芽温度」と「発芽適温」の使い分け方が理解し難い。)	3-(3)				
			℃ 20～25℃ [109ページ5行]発芽適温:25～30℃ [110ページ5行]発芽適温:20℃前後 [111ページ3行]発芽適温:25℃前後						
202	105	14 - 16	収穫後は、気温13℃、湿度90～95%、イモに直接風が当たらないようにして2～3週間貯蔵しておく、酵素の働きによってデンプンが麦芽糖に変わり甘みが増します。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (気温13℃でないと甘みが増さないと誤解する。)	3-(3)				
203	105	16	麦芽糖	誤りである。	3-(1)				
204	105	上段右	[図]植え付け [2行]定植 [7行]定植 [10行]定植後 [11行]定植後	生徒にとって理解し難い表現、図である。 (「植え付け」「定植」の使い分け方が理解し難い。)	3-(3)				
			[13行]定植 [中段中 図]定植の例						

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 2. 欠陥箇所

受理番号 105-110		学校 中学校		教科 技術・家庭		種目 技術・家庭（技術分野）		学年 1-3	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
205	105	上段右	[図](年内まで貯蔵可能)	生徒にとって理解し難い表現である。 (「年内まで貯蔵可能」が理解し難い。)	3-(3)				
206	106	1	栽培例	生徒にとって理解し難い表現である。 (「107ページ1行」「実習例」との違いの説明がなく理解し難い。)	3-(3)				
207	106	1	土耕栽培 [107ページ1行]土耕栽培 [109ページ1行]土耕栽培 [110ページ1行]土耕栽培 [111ページ1行]土耕栽培	生徒にとって理解し難い表現である。 (「80ページ上段右」「容器栽培」との違いの説明がなく理解し難い。)	3-(3)				
208	106	7	一番下の葉 [下段右 写真]一番下の葉	不正確である。 (一番下の葉)	3-(1)				
209	106	上段中	[写真]不織布	生徒にとって理解し難い表現である。 (説明がなく理解し難い。)	3-(3)				
210	106	上段中	[写真]肥料 [中段 表]全体  [109ページ中段中 写真]肥料 [109ページ下段 表]全体	生徒にとって理解し難い表現、表、写真である。 (肥料を施用する記載がなく理解し難い。)	3-(3)				
211	106	中段中	種を1か所に片寄らないようにしてま く。 [109ページ 下段中]種を1か所に片寄 らないようにしてま く。 [110ページ 下段中]種を1か所に片寄	生徒にとって理解し難い表現である。 (どのような方法でまくかの記載がなく理解し難い 。)	3-(3)				
			らないようにしてま く。 [111ページ 下段中]種を1か所に片寄 らないようにしてま く。						
212	106	中段右	トウミョウの種	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (トウミョウという作物の種があると誤解する。)	3-(3)				
213	107	上段左	収穫目安：およそ1か月半 [下段中 ⑤収穫]種まきからおよそ45 日 [108ページ下段]収穫までの日数 お よそ70日 およそ1か月半	生徒にとって理解し難い表現である。 (「収穫目安」「種まきからおよそ45日」「収穫ま での日数」の使い分けおよび日数と月数の使い分 け方が理解し難い。)	3-(3)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 2. 欠陥箇所

受理番号 105-110		学校 中学校		教科 技術・家庭		種目 技術・家庭（技術分野）		学年 1-3	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
			[109ページ上段左]収穫目安：3～4か月 [110ページ上段左]収穫目安：20～30日 [111ページ上段左 開花時期]約2か月						
			半						
214	107	中段中	種の左の長方形のもの [108ページ 中段中]種の左の長方形のもの	生徒にとって理解し難い写真である。 (説明がなく理解し難い。)	3-(3)				
215	107	中段中	種はばらまきにする。 [下段左]写真	生徒にとって理解し難い表現、写真である。 (ばらまきした時の写真であるとは理解し難い。)	3-(3)				
216	109	中段左	[写真]肥料の写真	特定の商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)				
217	110	上段右	写真 [中段中]写真	特定の商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)				
218	110	下段右	ベビーリーフの種	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (ベビーリーフという作物の種があると誤解する。)	3-(3)				
219	111	下段中	[⑤開花]開花後は、枯れた花をこまめに摘むと長く花を咲かせる。	生徒にとって理解し難い表現である。 ([111ページ上段右]「写真全体」からみて「枯れた花をこまめに摘む」が理解し難い。)	3-(3)				
220	112	23 - 24	作物の場合は収穫量が減り、花の場合は数が極端に減ってしまいます。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (花は作物でないと誤解する。)	3-(3)				
221	113	5 - 6	発芽するときに土に水分が多い状態が続くと、根が水を吸いすぎて作物の内部が水ぶくれしたような状態になり、徒長しやすくなります。	生徒にとって理解し難い表現である。 (発芽するときには根がまだ出ていないため理解し難い。)	3-(3)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 2. 欠陥箇所

受理番号 105-110		学校 中学校		教科 技術・家庭		種目 技術・家庭 (技術分野)		学年 1-3	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
222	113	7 - 9	高温多湿が続いていないか 真夏に土が高温になると苗が暑さにやられてしまいます。真夏の種まきはなるべく避け、風通しの良い場所に移すか、日よけなどの暑さ対策をするようにします。	生徒にとって理解し難い表現である。 (多湿の記載がなく理解し難い。)	3-(3)				
223	114	1	家畜の飼育と水産生物の栽培・飼育 [116ページ1行]水産生物の栽培・飼育	生徒にとって理解し難い表現である。 (「水産生物の栽培・飼育」が2か所あることが理解し難い。)	3-(3)				
224	114	9	子ウシ	表記が不統一である。 ([91ページ下段左]「子牛」と不統一である。)	3-(4)				
225	114	9	雌牛 めうし	不正確である。 (畜産用語の読み方として不正確である。)	3-(1)				
226	114	13 - 14	牧草のほかにトウモロコシやカルシウムを含む餌	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (牧草やトウモロコシにカルシウムが全く含まれていないと誤解する。)	3-(3)				
227	114	19 - 20	乳牛の飼育に適した温度は4~20℃です。およそ22℃以上になると乳牛は暑さでストレスを受け始める	学習上必要な出典が示されていない。	2-(10)				
228	114	21	ミストを使ったりして牛舎内の温度を下げます。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「ミスト」の説明がなく理解し難い。)	3-(3)				
229	114	24 - 25	乳牛が病気にかからないようにするため、牛舎内の清掃、ふん尿の処理などにより清潔に保ちます。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (乳牛が病気にならないためだけと誤解する。)	3-(3)				
230	115	2	肉養鶏	誤記である。	3-(2)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 2. 欠陥箇所

受理番号 105-110		学校 中学校		教科 技術・家庭		種目 技術・家庭（技術分野）		学年 1-3	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
231	115	5 - 6	配合飼料のほか、ビタミンを含んだ作物	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (配合飼料に全くビタミンが含まれていないおよびビタミンを全く含まない作物が多数あると誤解する。)	3-(3)				
232	115	7	ゲージ [118ページ上段]ゲージ	誤記である。	3-(2)				
233	115	10	採卵鶏の飼育に適した温度は18～24℃です。	学習上必要な出典が示されていない。	2-(10)				
234	115	14 - 15	採卵鶏が産卵するためには、1日10時間以上の明るい時間が必要といわれています。	学習上必要な出典が示されていない。	2-(10)				
235	116	4	完全養殖	生徒にとって理解し難い表現である。 (説明がなく理解し難い。)	3-(3)				
236	116	5 - 6	養殖施設で人工ふ化したマグロで、これによりマグロ資源の減少を防ぐことが可能とされています。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「養殖施設で人工ふ化したマグロ」と「これによりマグロ資源の減少を防ぐ」の関係が理解し難い。)	3-(3)				
237	117	6 - 7	和牛は、明治時代以降に日本の在来種とヨーロッパから輸入した品種とを交配し、品種改良を重ねて生まれたものです。	不正確である。 (ヨーロッパから輸入した品種だけではない。)	3-(1)				
238	117	14	生物育成では、食物を安定して生産・供給 [18行]農薬の使用は、病害虫の発生を防ぎ、食物を安定して得る	生徒にとって理解し難い表現である。 ([76ページ4～6行]「私たち人間が、～食べ物、衣類、住居、エネルギー資源などを手に入れて、」 [119ページ2～3行]「生物育成の技術は、食料やバイオエタノールなどの燃料、木材などの材料の生産や	3-(3)				
				、花壇や緑地等の生活環境の整備など」からみて「食物」だけ記載されていることが理解し難い。)					
239	118	9 - 10	遺伝子組換えについては、病害虫や除草剤に強い作物をつくることで収穫量を増やすことができる	生徒にとって理解し難い表現である。 (除草剤に強い作物でなぜ収穫量を増やすことができるかが理解し難い。)	3-(3)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 2. 欠陥箇所

受理番号 105-110		学校 中学校		教科 技術・家庭	種目 技術・家庭 (技術分野)	学年 1-3
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
240	118	上段	スイス、ニュージーランド、米国、オーストラリアなどの諸外国ではすでに妊娠ストールを廃止した国があります。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (記載の国では例外なく廃止されたと誤解する。)	3-(3)	
241	118	下段	クローン技術とは、単細胞を受精卵に移植することで、遺伝的に同じ個体をつくり出す技術	誤りである。 (「単細胞を受精卵に移植する」)	3-(1)	
242	118	下段	クローン技術によって品質の高い家畜を大量につくり出せば、食糧問題などを解決できる	生徒にとって理解し難い表現である。 (大量の品質の高い家畜でどのようにして食糧問題が解決するか理解し難い。)	3-(3)	
243	118	下段	食糧問題	誤りである。 (食糧)	3-(1)	
244	119	14 - 16	日本では、年間約1,700万トンもの食品廃棄物が排出されていて、このうち、本来食べられるのに廃棄される食品ロスは、年間約500～800万トンも含まれていると推測されています(農林水産省「食品ロスの現状等」2013)。	最新のものをを用いておらず、学習上の支障を生ずるおそれがある。	2-(11)	
245	119	17 - 19	食料自給率は、先進国の中でも最低水準です。食生活の変化などともない、コメや野菜の摂取量が減り、肉や油脂類の摂取量が増えていて、	学習上必要な出典、年次が示されていない。	2-(10)	
246	119	22 - 23	コメの消費増加は、食料自給率を上げるだけでなく、水田の維持や管理にもつながります。	生徒にとって理解し難い表現である。 (コメの消費増加がなぜ食料自給率を上げるかの説明がなく理解し難い。)	3-(3)	
247	120	6 - 8	これらの資源は農業に有用であることから、チッ素とリンは回収して肥料に利用されるほか、二酸化炭素も植物の光合成の促進に利用されます。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (すでに一般的に利用されていると誤解する。)	3-(3)	
248	121	17	USDA (オーガニック認証)	生徒にとって理解し難い表現である。 (USDAの説明がなく理解し難い。)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 2. 欠陥箇所

受理番号 105-110		学校 中学校		教科 技術・家庭		種目 技術・家庭（技術分野）		学年 1-3	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
249	122	4	GIGA端末 [149ページ 24-25行] GIGA端末	生徒にとって理解し難い表現である。 (「GIGA端末」について説明がなく理解し難い。)	3-(3)				
			[159ページ 10行] GIGA端末  [174ページ 3行] GIGA端末						
			[175ページ 2行] GIGA端末  [同ページ 4行]						
			GIGA端末  [同ページ 7行] GIGA端末						
			[同ページ 9行] GIGA端末						
250	122	13	製品の設計・製作	生徒にとって理解し難い表現である。 (下段の図の左下付近の「製作品」に照らして「製品」は理解し難い。)	3-(3)				
251	123 下段	表	[水 どのようにしてエネルギーを取り出しているか] 発電機のタービン	生徒にとって理解し難い表現である。 (発電機とタービンは異なる設備のため理解し難い。)	3-(3)				
252	124	3	コイルに電流が流れる現象	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (ファラデーの電磁誘導の法則について誤解する。)	3-(3)				
253	124	13 - 14	冷めた水蒸気はふたたび水となって復水器に戻る。 [同ページ 下段右 図 火力発電の基本構造の図]	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (復水器について誤解する。)	3-(3)				
			タービンから復水器の部分						

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 2. 欠陥箇所

受理番号 105-110		学校 中学校		教科 技術・家庭		種目 技術・家庭（技術分野）		学年 1-3	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
254	125	20 - 23	エネルギー変換効率とは、発電所で一次エネルギーから電気を取り出せる効率のことです。発電方式によって効率が違います。また、エネルギー変換効率について考えるときは、石油などを	生徒にとって理解し難い表現である。 (エネルギー変換効率について理解し難い。)	3-(3)				
			輸送するために必要なタンカーの燃料や発電所の建設費用、発電時の排熱などによる環境への影響などについても考える必要があります。						
255	125 下段	表	[発電方式] 天然ガス	生徒にとって理解し難い表現である。 (発電方式として理解し難い。)	3-(3)				
256	126	1 - 7	《参考》 ◇石油と同じように、天然ガスの場合は、… 省エネルギーにつながります。	不正確である。 (汽力発電とコンバインドサイクル発電が適切に区別されておらず、根拠に基づいて記載されていない。)	3-(1)				
257	127	1 - 3	(6)周波数 周波数の違う電気がある日本は、世界でも珍しい国です。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「周波数」とは何か理解し難い。)	3-(3)				
258	127	8 - 19	日本で電気が使用されるようになったのは、1882年頃のことです。… そのため、日本では50Hzと60Hzという二つの周波数の電気がつくられるようになり、そのまま全国に広がっていきま	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (日本では1882年頃から50Hzや60Hzの電気をつくっていたと誤解する。)	3-(3)				
			した。						
259	128	2 - 3	2種類の金属を電解液が反応して起こる化学反応によって	生徒にとって理解し難い表現である。 (どのようなことか理解し難い。)	3-(3)				
260	128	表	[リチウム電池 特徴] 例) デジタルカメラ	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (リチウム電池が一般的にデジタルカメラに使われているように誤解する。)	3-(3)				
261	129	7	白熱電球は、2028年頃に製造が終わる予定です。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (全ての白熱電球の製造が終わるように誤解する。)	3-(3)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 2. 欠陥箇所

受理番号 105-110		学校 中学校		教科 技術・家庭		種目 技術・家庭 (技術分野)		学年 1-3	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
262	129	表	[LED 特徴] 大きな電流を直接流すと壊れる。	生徒にとって理解し難い表現である。 (どのようなことか理解し難い。)	3-(3)				
263	129	9 - 11	LEDは、半導体 (N型とP型) と電子のはたらきによって発光します。N型にはマイナスの電気を帯びた電子が、P型にはプラスの電気を帯びた正孔と呼ばれる穴があって、電流が流れるとN	生徒にとって理解し難い表現である。 (LEDの発光のしくみについて理解し難い。)	3-(3)				
			型とP型の境界で電子が正孔に入り込んでエネルギーを光に変えます。						
264	129	9	電子 [同ページ 10行] 電子	表記が不統一である。	3-(4)				
			[同ページ 11行] 電子  [130ページ 上段 図] 自由電子 (3箇所)						
265	130 上段	図	自由ホール (3箇所)	生徒にとって理解し難い表現である。 (129ページ10行の「正孔」に照らして理解し難い。)	3-(3)				
266	130 上段	図	[LEDの発光についての説明図] 全体	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。	2-(17)				
267	134	表	[ドライヤ 特徴と注意点] 抵抗  [電磁調理器 特徴と注意点] 電気抵抗	表記が不統一である。	3-(4)				
268	135	16	回転運動を変えるしくみ	生徒にとって理解し難い表現である。 (17行の「回転運動を伝えるしくみ」に照らして理解し難い。)	3-(3)				
269	136	表	[平歯車 回転速度を変える方法] 接している二つの歯車の歯数を変える。  [はすば歯車 回転速度を変える方法]	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (歯車の径を変えることなく歯数を変えることで回転速度を変えることができると誤解する。)	3-(3)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 2. 欠陥箇所

受理番号 105-110		学校 中学校		教科 技術・家庭		種目 技術・家庭 (技術分野)		学年 1-3	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
			接している二つの歯車の歯数を変える。 [チェーンとスプロケット 回転速度を変える方法]						
			二つのスプロケットの歯数を変える。 [かさ歯車 回転速度を変える方法] 接している二つの歯車の歯数を変える。						
270	136	表	[ウォームギヤ イラスト] はずば歯車 [ウォームギヤ 特徴・用途] はずば歯車	不正確である。	3-(1)				
			[ウォームギヤ 回転速度を変える方法] はずば歯車						
271	136	表	[ウォームギヤ 回転速度を変える方法] 歯数を変える	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (ウォームギヤの回転速度を変える方法について誤解する。)	3-(3)				
272	136	表	[ラックとピニオン 特徴・用途] 回転運動を直線運動に変える。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (逆の動作もできるためラックとピニオンの特徴について誤解する。)	3-(3)				
273	136	表	[ラックとピニオン 回転速度を変える方法] ピニオンの歯数を変える。	生徒にとって理解し難い表現である。 (ラックとピニオンで回転運動を直線運動に変えるとき「ピニオンの歯数を変える。」ことで回転速度を変えるとはどのようなことか理解し難い。)	3-(3)				
274	137 中段	図	[リンク装置の図] 全体	不正確である。 (右上の囲みの図に照らして、左上の図及び1~4の動作の図は不正確である。)	3-(1)				
275	139	2 - 3	回転運動を往復運動に変える	生徒にとって理解し難い表現である。 (右図の電動歯ブラシの例では回転運動を往復運動に変換し、さらに往復運動を回転運動に変換しているため理解し難い。)	3-(3)				
276	139 上段右	図	[電動歯ブラシの図 左下付近] モーター	生徒にとって理解し難い表現である。 (4行の「モータ」に照らして理解し難い。)	3-(3)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 2. 欠陥箇所

受理番号 105-110		学校 中学校	教科 技術・家庭	種目 技術・家庭 (技術分野)	学年 1-3
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
277	139	7 - 8	クランクの回転運動を、シリンダーに上下をはさまれたロッドの往復運動に変える	生徒にとって理解し難い表現である。 (「上下」は置き方によるので理解し難い。また、下図の車のエンジンの例では往復運動を回転運動に変換しているため理解し難い。)	3-(3)
278	140 - 142		⑧機械部品 … ねじ (小ねじ・ボルト) … ②ナット、座金 (ワッシャ)	全体として系統的に構成されていない。 (135ページからの「(9)動力伝達のしくみ」の学習内容として系統的に構成されていない。また、小項目の番号付けも系統的に構成されていない。)	2-(12)
			… ③ばね … ④軸受け …		
279	140 中段	表	[メートルねじのサイズ M2 ピッチ] 0.5	不正確である。 (JIS B 1101, JIS B 1111, JIS B 1180に照らして不正確である。)	3-(1)
280	140 中段	図	[ねじ山の図] 呼び (ねじ山の外側)	不正確である。	3-(1)
281	140 下段	表	[なべ小ねじ 特徴] M2からM8までの呼びのねじを指す。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (M2からM8までの呼びのねじをなべ小ねじというように誤解する。)	3-(3)
282	142	表	[玉軸受け/ころ軸受け 特徴] 軸との接触面積が小さいので	生徒にとって理解し難い表現である。 (「軸との接触面積」は理解し難い。)	3-(3)
283	143	8	JIS規格で定められています。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (個々の電気機器や電気部品の定格電圧や定格電流がJISで定められているように誤解する。)	3-(3)
284	145	表	[分電盤 配線用遮断器] 設定された値以上の電流	不正確である。 (「以上の」は不正確である。)	3-(1)
285	147	表	[ブレーキ装置 役割] ブレーキシューがタイヤに接すると	生徒にとって理解し難い表現である。 (148ページ23行の「タイヤのホイール」に照らして「タイヤ」は理解し難い。)	3-(3)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 2. 欠陥箇所

受理番号 105-110		学校 中学校		教科 技術・家庭		種目 技術・家庭 (技術分野)		学年 1-3	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
286	149	18 - 19	1899年にスウェーデンのウォルデマール・ユングナーがニカド電池を発明すると、アメリカのトーマス・エジソンもニッケル蓄電池を発明しました。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (エジソンがニッケル蓄電池を発明した年について誤解する。)	3-(3)				
287	151	3 - 4	すりわりのサイズに合ったもの [同ページ 6行] すりわりをつぶしたり	生徒にとって理解し難い表現、図である。 (ねじ回しの先端を差し込む部分は「すりわり」だけではなく、また、図は十字穴を例に描かれているため理解し難い。)	3-(3)				
			[中段 安全 図 左側] ドライバと十字穴付きねじの図 (3つ)						
288	151 上段右	写真	[ねじ回しの写真] VESSEL 6300 (2箇所)	特定の商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)				
289	152	1	(イ)	生徒にとって理解し難い表現である。 (「(イ)」の意味について理解し難い。)	3-(3)				
290	152 上段右	写真	[ギヤボックスの写真] 写真に加えられた数字と矢印	生徒にとって理解し難い表現である。 (数字と矢印の関係について理解し難い。)	3-(3)				
291	155	6	JIS C 0617より作成	不正確である。 (規格番号は不正確である。)	3-(1)				
292	155 下段	囲み	[中央付近 ダイオード] ダイオードの図記号	不正確である。 (JIS C 0617-5に照らして不正確である。)	3-(1)				
293	156 下段右	表	[参考 右側の表] 「アカ」と「赤」 「キイロ」と「黄」 「ムラサキ」と「紫」	表記が不統一である。	3-(4)				
294	156 下段右	図	[「抵抗器の端にテスト棒をあてて、目盛を読む。」の図] 全体	生徒にとって理解し難い図である。 (「《参考》抵抗値」との関連について理解し難い。)	3-(3)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 2. 欠陥箇所

受理番号 105-110		学校 中学校		教科 技術・家庭		種目 技術・家庭 (技術分野)		学年 1-3	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
295	157 上段右	図	[スイッチによる切り替え回路の回路図] スイッチの図記号	不正確である。 (JIS C 0617-7に照らして不正確である。)	3-(1)				
296	157 下段右	図	[光センサ回路の3つの回路図] トランジスタの図記号 (3箇所)	不正確である。 (155ページ下段囲みのトランジスタの図記号に照らして不正確である。)	3-(1)				
297	157 下段右	図	[暗いときの電流の流れの図] ① ②	生徒にとって理解し難い表現である。 (「①」、「②」の表記の意味は理解し難い。)	3-(3)				
298	158	2	実験用基板を使った電気回路の設計の 学習を生かして [同ページ 5-6行] 《回路の設計》	生徒にとって理解し難い表現である。 (実験用基板を使った電気回路の設計は学習していないため、また、実験用基板は電気回路の試作に用いるため理解し難い。)	3-(3)				
			ブレッドボード、またはCADソフトウェアを使って、回路を設計します。						
299	160 中段左	囲み	[カム機構模型の製作手順 1] 座軸受け [同ページ 下段の図 左側] 軸受け	表記が不統一である。	3-(4)				
300	160 中段右	囲み	[カム機構模型の製作手順 2] 回転軸 [同ページ 中段左 囲み カム機構 模型の製作手順 3]	表記が不統一である。	3-(4)				
			カム軸 [同ページ 下段の図 左側] 回転軸						
301	161 中段左	囲み	[クランク機構模型の製作手順 3] クランク軸 [同ページ 下段の図 左側] 回転軸	表記が不統一である。	3-(4)				
302	162	表	[問題解決の流れ ②課題を設定する 右欄] 製品 [問題解決の流れ ④構想を具体化する]	生徒にとって理解し難い表現である。 (同ページ3行の「製作品」に照らして理解し難い。)	3-(3)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 2. 欠陥箇所

受理番号 105-110		学校 中学校		教科 技術・家庭		種目 技術・家庭（技術分野）		学年 1-3	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
			る 右欄] 製品  [問題解決の流れ ⑥製作する 右欄] 製品						
			[同ページ 8行] 製品						
303	163	5 - 7	①問題の発見 ●LEDライトが1つだけだと、部屋全体を照らすには不十分だな。	生徒にとって理解し難い表現である。 (前提となる事柄が述べられておらず、162ページ3-4行の「生活や社会の中から困ったことや便利にしたいことを発見して」に照らして理解し難い。)	3-(3)				
304	163	14 - 15	④構想の具体化 ●高輝度LEDの回路を試作・実験し、回路図にかき表す。	生徒にとって理解し難い表現である。 (構想の具体化について、162ページの表に照らして理解し難い。)	3-(3)				
305	163	16 - 17	⑤設計 ●必要な部品と工具を表にまとめ、製作の手順を確認する。	生徒にとって理解し難い表現である。 (162ページの表に照らして「必要な部品と工具を表にまとめ、製作の手順を確認する」がなぜ設計なのか、また、回路図や部品図、作業の計画が示されておらず、設計した製作品品について理解し難い。)	3-(3)				
306	164 下段右	囲み	[作品発表レポート] 製品  [166ページ 下段 囲み 作品発表レポート]	生徒にとって理解し難い表現である。 (同ページの8行及び166ページの7行の「製作品品」に照らして理解し難い。)	3-(3)				
			製品						
307	165	14	CADソフトウェアで設計して	生徒にとって理解し難い表現である。 (設計は次の手順であるため、構想の具体化の内容として理解し難い。)	3-(3)				
308	165	15 - 16	⑤設計 ●必要な部品と工具を表にまとめ、製作の手順を確認する。	生徒にとって理解し難い表現である。 (162ページの表に照らして「必要な部品と工具を表にまとめ、製作の手順を確認する」がなぜ設計なのか、また、回路図や部品図、作業の計画が示されておらず、設計した製作品品について理解し難い。)	3-(3)				
309	167	5 - 9	①問題の発見 ●軽くて丈夫な合板を利用しよう。ギヤボックスで動くようにしましょう。 ●カム機構やクランク機構で動くロボットをつくりたいけど、ペーパークラ	生徒にとって理解し難い表現である。 (前提となる事柄が述べられておらず、162ページの3-4行の「生活や社会の中から困ったことや便利にしたいことを発見して」に照らして理解し難い。)	3-(3)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 2. 欠陥箇所

受理番号 105-110		学校 中学校		教科 技術・家庭		種目 技術・家庭 (技術分野)		学年 1-3	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
			フトだと強度が足りなくて、大きなロボットは作れないな。						
310	167	17 - 18	⑤設計 ●製作に必要な材料と工具を確認する。	生徒にとって理解し難い表現である。 (162ページの表に照らして「製作に必要な材料と工具を確認する」がなぜ設計なのか、また、回路図や部品図、機構や筐体の設計図、作業の計画が示されておらず、設計した製作品について理解し難い。)	3-(3)				
311	168	1 - 5	[⑥製作(クランク機構の例)] 全体(本文、図)	課題を製作するにあたり、これまでに学んだ工具や機器を安全・適切に利用する技能が活用されておらず、学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容C(2)のア「安全・適切な製作、実装、点検及び調整等ができること」)	2-(1)				
312	169	2	全日中の「全国ロボコン大会」	生徒にとって理解し難い表現である。 (略称のため理解し難い。)	3-(3)				
313	169	4	(URL:ajgika.ne.jp/~robo/)	学習上の参考に供する情報を参照させるウェブページのアドレスは、発行者が管理するものでない。	2-(18)				
314	170	1 - 2	⑤設計 ●必要な部品と工具を表にまとめ、製作の手順を確認する。	生徒にとって理解し難い表現である。 (162ページの表に照らして「必要な部品と工具を表にまとめ、製作の手順を確認する」がなぜ設計なのか、また、回路図や部品図、機構や筐体の設計図、作業の計画が示されておらず、設計した製作品につ	3-(3)				
				いて理解し難い。)					
315	172	表	[太陽光発電の技術 プラス面の例] ○モータなどを用いないため、騒音が発生しない。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「モータなどを用いない」は理解し難い。)	3-(3)				
316	172	11	天然ガス(LNG)	不正確である。 (「天然ガス」と「LNG」の対応は不正確である。)	3-(1)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 2. 欠陥箇所

受理番号 105-110		学校 中学校		教科 技術・家庭		種目 技術・家庭 (技術分野)		学年 1-3	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
317	173 上段	図	[3つの円グラフ] 全体	生徒にとって理解し難い図である。 (タイトルや説明がなく本文との関連や理解を深めたい事柄について理解し難い。)	3-(3)				
318	173 上段	図	[3つの円グラフ] 再エネ等 (※) (3箇所) [左下付近] ※再エネ=再生可能エネルギー	生徒が誤解するおそれのある表現, 図である。 (グラフの「再エネ等」の範囲には水力が含まれていないため水力は再生可能エネルギーではないように誤解する。)	3-(3)				
319	173 上段	図	[右付近 2019年度の円グラフ] (最新)	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (最新のデータであるように誤解する。)	3-(3)				
320	175	10	(1) 情報通信ネットワーク (以下 3ページ) (1) 情報通信ネットワークの発達)	相互に矛盾している。	3-(1)				
321	176	下表	ソーシャルネットワークサービス (以下 3行 ソーシャル・ネットワーキング・サービス)	表記が不統一である。	3-(4)				
322	176	上表	固定電話新聞	誤記である。	3-(2)				
323	180 - 181	12 - 12	コンピュータ本体には、次のような装置が組み込まれています。 (イ) 記憶装置… (ウ) CPU… (エ) 制御装置…  (オ) ディスプレイ… (カ) キーボード… (キ) マウス… (ク) プリンタ…	誤りである。 (組み込まれた装置の範囲)	3-(1)				
324	180	15 - 17	主記憶装置は、ストレージまたはROM (…) ともいい、プログラムやデータを永続的に記憶できる装置です。 (以下 20-21行 補助記憶装置はメモリまたはRAM (…	誤りである。 (記憶装置の役割)	3-(1)				
			) ともいい、コンピュータが情報を処理するときにデータを一時的に記憶する装置です。)						

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 2. 欠陥箇所

受理番号 105-110		学校 中学校		教科 技術・家庭	種目 技術・家庭 (技術分野)	学年 1-3
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
325	180	19	ROMはハードディスク (…) として製品に組み込まれています。	誤りである。 (ROMとハードディスク)	3-(1)	
326	180 - 181	23 - 2	(ウ) CPU…演算装置ともいい、様々なデータ処理を行います。… (エ) 制御装置…CPUにおさめられており、記憶装置や演算装置の制御を行います。	生徒にとって理解し難い表現である。 (制御装置が、CPUの中からCPUを制御していることになる。)	3-(3)	
327	183	右上図	サーバー (以下 16行 サーバ)	表記が不統一である。	3-(4)	
328	183	13	複数のコンピュータがつながった情報通信網のことをインターネットといいます。	不正確である。 (この説明ではインターネット以外も該当する)	3-(1)	
329	183	23 - 24	文部科学省のWebページを閲覧したいとき、私たちは文部科学省のホームページにアクセスします。	生徒にとって理解し難い表現である。 (Webページとホームページの違い)	3-(3)	
330	184	上表	SSL httpsから始まるホームページで使われる。	生徒にとって理解し難い表現である。 (httpsから始まるホームページ)	3-(3)	
331	185	上囲み	文部科学省のWebページにIPアドレス (202. 232. 190. 211) でアクセスしてみよう。	不正確である。 (該当アドレスは繋がらない)	3-(1)	
332	185	11 - 13	Webページを表示するには、主に次の三つの方法があります。 ◇WebページのURLを直接入力する。 ◇検索エンジンを使い、キーワードを入力して検索する。	不正確である。 (三つの方法)	3-(1)	
333	192	1	(3) 情報通信のユニバーサルデザイン (以下 2行 情報のユニバーサルデザイン)	生徒にとって理解し難い表現である。 (デザインする対象)	3-(3)	
334	193	17 - 18	プログラム言語 (以下 13行ほか プログラミング言語)	表記が不統一である。	3-(4)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 2. 欠陥箇所

受理番号 105-110		学校 中学校		教科 技術・家庭		種目 技術・家庭 (技術分野)		学年 1-3	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
335	198	中段右	タイトルバー Microsoft micro:bit (以下 同ページ下段左 224、225、228ページ)	特定の営利企業の宣伝になるおそれがある。	2-(7)				
336	199	9 - 10	インターネットブラウザ (以下 194ページ表 Webブラウザ 197ページ8行 ブラウザ)	表記が不統一である。	3-(4)				
337	200	上囲み	<script src="program".js>	不正確である。 (二重引用符)	3-(1)				
338	203 - 206	全体	プログラミングの例 (以下 207-208ページ 題材例)	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容D(2)「ネットワークを利用した双方向性のあるコンテンツのプログラミングによって解決する活動を通して」)	2-(1)				
339	210	右上図	写真左上 ISUPET	特定の営利企業の宣伝になるおそれがある。	2-(7)				
340	210	中段右	基板に micro:bit	特定の商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)				
341	211	上囲み	アクティビティ図 (以下 下囲みプログラム 点灯後5秒経つと消灯)	相互に矛盾している。	3-(1)				
342	211	下囲み	右上に 1 (micro:bit)	特定の商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)				
343	212	下囲み	完成したコンテンツをインターネット 上で公開しよう。	生徒にとって理解し難い表である。 (何を公開するのか)	3-(3)				
344	215	下囲み	走行時に発光ダイオードを点滅させる (以下 プログラム 「ずっと」のループ)	相互に矛盾している。	3-(1)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 2. 欠陥箇所

受理番号 105-110		学校 中学校		教科 技術・家庭	種目 技術・家庭 (技術分野)	学年 1-3
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
345	219	表右下	人工知能(AI)の技術 マイナス面の例 △事故などの問題が起きたとき、責任はプログラミングした人が負うことになる。	不正確である。 (常にプログラマの責任になるとは限らない)	3-(1)	
346	220	18	1942年に…アシモフが執筆した『われはロボット』	不正確である。 (1942年)	3-(1)	
347	223	11	土壌の湿度を計測する [15行]土壌湿度 [下段右 図]土壌の湿度を計測 [224ページ4行]土壌湿度 [224ページ5行]土壌湿度	生徒にとって理解し難い表現である。 (土壌の湿度が理解し難い。)	3-(3)	
			[224ページ9行]土壌湿度 [225ページ 上段右]土壌の湿度を計測			
348	223	15	基盤	誤記である。 (盤)	3-(2)	
349	224 上段右	写真	[左付近] IS PET	特定の商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)	
350	224	1 - 5	[自動かん水装置の製作] 全体 (本文, 写真)	生徒にとって理解し難い表現, 写真である。 (回路図, 機器や部品の接続図がないため, 製作品について理解し難い。)	3-(3)	
351	224	9	土壌湿度センサが、水位(しきい値500)を計測する。	生徒にとって理解し難い表現である。 (土壌湿度センサが水位を計測することおよび「しきい値500」が理解し難い。)	3-(3)	
352	224	10	点滅する。	生徒にとって理解し難い表現である。 (223ページ下段右のプログラムのアクティビティ図の「LEDを2秒点灯させる」に照らして理解し難い。)	3-(3)	
353	225	下囲み	プログラム 追加した機能を表す文に赤い矢印	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (他にも追加された機能があるが矢印が無い)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 2. 欠陥箇所

受理番号 105-110		学校 中学校		教科 技術・家庭	種目 技術・家庭 (技術分野)	学年 1-3
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
354	226	6 - 10	②課題の設定と構想 ●「移動しやすいように、電源には乾電池を使おう」 ●「ベースは、加工しやすい木材を使おう」	生徒にとって理解し難い表現である。 (課題の設定について理解し難い。)	3-(3)	
			●「できるだけコンパクトにするために、LEDモジュールを使おう」 ●「制御用コンピュータを使って、制御できるようにしよう」			
355	226 下段右	図	[プログラムのアクティビティ図] Aボタンをおす Bボタンをおす  [227ページ ミニセンサライトの製作	生徒にとって理解し難い表現である。 (回路図、部品や機器の接続図、筐体の設計図が示されていないため、製作品について理解し難い。)	3-(3)	
			] 全体 (本文, 写真)			
356	226	左下囲み	必要な材料、部品、機器 (以下 223ページ 必要な機器、部品)	表記が不統一である。 (乾電池の有無)	3-(4)	
357	227	5	固定しする	誤植である。 (し)	3-(2)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。



## 2. 欠陥箇所

受理番号 105-110		学校 中学校		教科 技術・家庭	種目 技術・家庭 (技術分野)	学年 1-3
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	1	4 - 10	母親が子どものためにおにぎりをつくる時、大抵の場合、材料はあり合わせである。しかし、子どもの好みは熟知しているし、手の大きさ、口の大きさ、食べ方まですべて知り尽くしている	不正確である。 (マーケットインの説明として不正確である。)	3-(1)	
			。～母親はおにぎりの種類とつくり方を変える。まさしくこれは、「マーケットイン」そのものと言ってよいかもしれない。 [14行]「マーケットイン(消費者のニ			
			ーズ) 」 [229ページ3行]「マーケット・イン(消費者のニーズ) 」			
2	1	4 - 17	母親が子どものためにおにぎりをつくる時、大抵の場合、材料はあり合わせである。… 技術分野の学習では、五感を研ぎ澄まして「技術と設計」を学んでください。	生徒にとって理解し難い表現である。 (岩倉信弥氏のことばが区別されておらず、引用部分について理解し難い。)	3-(3)	
3	1	9	マーケットイン [14行]マーケットイン [229ページ3行]マーケット・イン	表記が不統一である。	3-(4)	
4	1	10	創意工夫をかさね、	表記が不統一である。 (読点)	3-(4)	
5	1	10 - 13	それだけではない。お母さんは日夜創意工夫をかさね、子どもを驚かせてやろうと考えている。ある日の遠足で子どもがおにぎりをガブリとやると、初めての味に出会う。なんと中身の具は	不正確である。 (プロダクトアウトの説明として不正確である。)	3-(1)	
			、ウイナーソーセージ。子どもはさっそく友達に自慢した。これぞまさしく「プロダクトアウト」である。 [14～15行]「プロダクトアウト(生産者の視点) 」			
			[229ページ3～4行]「プロダクト・アウト(生産者の視点) 」			
6	1	12 - 13	プロダクトアウト [14行]プロダクトアウト [229ページ3行]プロダクト・アウト	表記が不統一である。	3-(4)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 2. 欠陥箇所

受理番号 105-110		学校 中学校		教科 技術・家庭	種目 技術・家庭（技術分野）	学年 1-3
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
7	3 左段	20	4. 製作の技術を身につけよう・・・ ・・・150 [150ページ 1行] 4. 製作の技能を身につけよう	表記が不統一である。	3-(4)	
			[122 - 173ページ 奇数ページの右欄] 4 製作の技術を 身につけよう			
8	3 目次	右段	5章 8. (1)人口知能の活用……220	誤記である。	3-(2)	
9	3	下段下	6章 技術を生かして、夢を形にしよう [222ページ上段左]6章 夢をかなえる 技術	生徒にとって理解し難い表現である。 (記載が異なり理解し難い。)	3-(3)	
10	5	表	「科学者」と「技術者」の表全体	生徒にとって理解し難い表である。 (科学者と技術者の何を対比しているのか理解し難い。)	3-(3)	
11	5	2	科学技術基本法	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (現在の法律名について誤解するおそれがある。)	3-(3)	
12	5	3 - 4	科学技術基本計画	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (現在の計画名について誤解するおそれがある。)	3-(3)	
13	6	中段中	10坪足らず	誤りである。	3-(1)	
14	6	中段中	2020年5月には	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (期間が明確でなく理解し難い。)	3-(3)	
15	6	中段右	約1064.2億食が消費されたとされている。	学習上必要な出典が示されていない。	2-(10)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 2. 欠陥箇所

受理番号 105-110		学校 中学校		教科 技術・家庭	種目 技術・家庭 (技術分野)	学年 1-3
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
16	6	20	自動化 (以下 21行ほか 自動化)	表記が不統一である。	3-(4)	
17	6	下段左	リードタイム	生徒にとって理解し難い表現である。 (説明がなく理解し難い。)	3-(3)	
18	7	下段中	気候の温暖化	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (一般的な用語と誤解する)	3-(3)	
19	8 - 9		3. 先人・先輩たちの言葉 全体	学習上必要な出典が示されていない。	2-(10)	
20	10	10	評価までの各段階で評価と修正・改善 を行います。 [同ページ 中段 図 右付近] 「評価と修正・改善」の囲みから「結 果の評価」の囲みへの矢印	生徒にとって理解し難い表現、図である。 (「結果の評価」を評価するとはどのようなことか 理解し難い。)	3-(3)	
21	10 中段	図	[中央付近] 設計 開発	生徒にとって理解し難い表現である。 (9行の「設計・計画」に照らして「開発」は理解し 難い。)	3-(3)	
22	11 中段	表	[材料の変化] 昔は主に木材、現在は、金属、プラス チック、コンクリートが多く使われて いる。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (現在、木材が使われていないような誤解をあてる おそれがある。)	3-(3)	
23	12	下段右 図	全体	生徒にとって理解し難い図である。 (「設計情報の創造」「設計情報の転写」「設計情 報の対顧客発信」「設計情報を消費する」「媒体」 の語句は理解し難い。)	3-(3)	
24	12	18 - 20	例えば、たい焼きは、焼き型とレシピ という設計情報が、生地という媒体に 転写されています。 このように製品は、設計情報と材料な どの媒体との組み合わせからなってい	生徒にとって理解し難い表現である。 (「生地という媒体に転写されています。」「媒体 との組み合わせ」「材料の上に転写されます。」は 理解し難い。)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 2. 欠陥箇所

受理番号 105-110		学校 中学校		教科 技術・家庭		種目 技術・家庭 (技術分野)		学年 1-3	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
			ます。製品には必ず設計図があり、その設計情報が材料の上に転写されます。						
25	14	上段中	私たち人間が、作物や家畜などの生物の世話をし、自分たちの生活に役立てることを生物育成といいます。 [76ページ4～5行]私たち人間が、作物や家畜、水産生物などの生物を育成し	生徒にとって理解し難い表現である。 (自分たちの生活に役立てることまでを生物育成ということが理解し難い。)	3-(3)				
			て、自分たちの生活に役立てることを生物育成といいます。						
26	14	中段左	[計画 作物の栽培・育林]作物の規則性 [育成 作物の栽培・育林]整地 [計画 家畜の飼育]地域環境 [廃棄 家畜の飼育]病原菌に感染した	生徒にとって理解し難い表現である。 (どこに記載があるのかが理解し難い。)	3-(3)				
			家畜の処理 [計画 水産生物の栽培]地域環境 [育成 水産生物の栽培]養殖環境の管理 [育成 水産生物の栽培]魚介類、藻類						
			の食性 [廃棄 水産生物の栽培]増殖技術						
27	14	中段左	[計画 作物の栽培・育林]作業計画表 [76ページ中段右]育成計画 [94ページ16行]栽培 [94ページ17行]育成 [97ページ4行]育成計画	生徒にとって理解し難い表現である。 (「作業計画表」と「栽培計画表」、「育成計画」と「栽培計画」および「栽培」と「育成」の使い分け方が理解し難い。)	3-(3)				
			[97ページ5行]育成計画 [97ページ表 ③計画を立てる]栽培計画 [97ページ表 ③計画を立てる]栽培計画表						
			[97ページ表 ④栽培する]栽培計画 [98ページ1行]栽培計画 [98ページ3行]栽培計画表 [98ページ3行]栽培計画 [98ページ中段右]栽培計画表の例						
			[98ページ上段表]栽培計画表 [106ページ5行]栽培計画 [107ページ8行]栽培計画 [109ページ10行]栽培計画 [110ページ10行]栽培計画						

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 2. 欠陥箇所

受理番号 105-110		学校 中学校		教科 技術・家庭	種目 技術・家庭 (技術分野)	学年 1-3
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
			[111ページ8行]栽培計画 [114ページ2行]育成計画			
28	14	中段左	[育成 作物の栽培・育林]育成環境の管理技術 整地 施肥 種まき(種まきのしかた、種まき方法の種類、植物を増やす方法など) 作物の管理技術 (育林の場合は苗木づくり) 定植	生徒にとって理解し難い表現である。 ([77ページ6～7行]「生物育成の技術には、作物の特性や家畜、水産生物の習性や成長段階に合わせて成長を管理する技術と生物が成長しやすいように環境を調節する技術があります。」との関係が理解し	3-(3)	
			作物の管理技術、植林 除草(育林の場合は下草刈り、間伐、枝打ち) 病気や害虫に侵されにくい育成方法 薬品の使用量を少なくした病気や害虫の防除方法 施肥(追肥) かん水	難い。)		
			[育成 家畜の飼育]温度調節 飼育環境の管理技術 給餌 家畜の管理技術 (2か所) 除ふん 給水 [育成 水産生物の栽培]養殖環境の管理 養殖技術 増殖技術 移植、放流			
			[廃棄 水産生物の栽培]増殖技術 [92ページ17～18行]水産生物を育てる技術には、放流などによって水産生物を増殖させる増殖技術や、養殖環境の管理や給餌などによって水産生物を管			
			理する養殖技術があります。 [92ページ19～24行]①増殖技術 魚介類は、～できるようになります。 [93ページ1～5行]②移植技術 もともとそこにいなかったり～移植といいま			
			す。放流も移植の一部です。移植は～注意する必要があります。 [93ページ6～10行]③養殖技術 水産生物を～養殖する場合があります。			
29	14	中段左	[育成 作物の栽培・育林]作物の管理技術 (育林の場合は苗木づくり)	生徒にとって理解し難い表現である。 (作物の栽培の場合の記載がなく理解し難い。)	3-(3)	
30	14	下段左	[育成 作物の栽培・育林]薬品 [81ページ8行]薬剤 [85ページ19行]農薬や殺虫剤 [85ページ22～23行]農薬 [86ページ24行]農薬	生徒にとって理解し難い表現である。 (「薬品」「薬剤」「農薬」「殺虫剤」の使い分け方が理解し難い。)	3-(3)	
			[94ページ19行]農薬 [95ページ11行]農薬 [97ページ表 ①問題を発見する]農薬 [97ページ表 ②課題を設定する]農薬 [99ページ2行]薬品			

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 2. 欠陥箇所

受理番号 105-110		学校 中学校		教科 技術・家庭	種目 技術・家庭 (技術分野)	学年 1-3
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
			[99ページ7行]薬品 [99ページ12行]薬品(2か所) [99ページ上段右 図]薬品(3か所) [100ページ15行]農薬 [101ページ6行]薬品			
			[101ページ11行]農薬や殺虫剤などの薬品 [101ページ12行]薬品(2か所) [101ページ13行]農薬 [101ページ18行]農薬			
			[117ページ18行]農薬 [117ページ19行]農薬(2か所)			
31	14	中段中	[計画 家畜の飼育]乳牛、ニワトリ、ウシ、ブタなど	生徒にとって理解し難い表現である。 (「乳牛」と「ウシ」の使い分け方が理解し難い。)	3-(3)	
32	14	中段右	[育成 水産生物の栽培]増殖技術 [廃棄 水産生物の栽培]増殖技術	生徒にとって理解し難い表現である。 (2か所に「増殖技術」とだけ記載されていることおよび廃棄に「増殖技術」が記載されていることが理解し難い。)	3-(3)	
33	14	中段中	[育成 家畜の飼育]家畜の管理技術(2か所)	生徒にとって理解し難い表現である。 (2か所に「家畜の管理技術」とだけ記載されていることが理解し難い。)	3-(3)	
34	15	2	力学的エネルギー [同ページ 下段 表] 力学的エネルギー	表記が不統一である。	3-(4)	
			[124ページ 5行] 力学的エネルギー  [124ページ 上段 図] 力学的エネルギー			
			[131ページ 22行] 運動エネルギー  [169ページ 下段 図 左上の吹き出し] 運動エネルギー			

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 2. 欠陥箇所

受理番号 105-110		学校 中学校		教科 技術・家庭		種目 技術・家庭 (技術分野)		学年 1-3	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
35	17	12	計画から改善までを1つのサイクルのことをいいます。	生徒にとって理解し難い表現である。 (どのようなことか理解し難い。)	3-(3)				
36	18	24	Recycle(リペア)	誤記である。	3-(2)				
37	19	1	12. 統合的な学習	誤りである。 (以下の本文の内容、2ページの左段の15行の「12. 用語・単位などについて」に照らして誤りである。)	3-(1)				
38	19	2	「JIS規格」は、日本工業規格のこと で [140ページ 2-3行] JIS規格 (日本産業規格)	不正確である。 (155ページの2-3行の「JIS (日本産業規格)」に照らして不正確である。)	3-(1)				
			[142ページ 下段 囲み 調べてみよう] JIS規格						
			[143ページ 8行] JIS規格 [230ページ 左段 13行] JIS規格						
39	19 中段	表	[接頭辞の表] $\mu$	表記の基準によっていない。 (SI)	3-(4)				
40	19	6	次の単位を使って数字を表しています。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「数字を表しています」の表現が理解し難い。)	3-(3)				
41	22	上段囲み	イージーオープンエンド (easy open end)	不正確である。 (easy open end)	3-(1)				
42	22	上段囲み	ステイオンタブ (stay on tab)	不正確である。 (stay on tab)	3-(1)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 2. 欠陥箇所

受理番号 105-110		学校 中学校		教科 技術・家庭		種目 技術・家庭 (技術分野)		学年 1-3	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
43	22	3 上囲み	粘ねん土	誤りである。	3-(1)				
44	24	上段	図 キリ	生徒にとって理解し難い図である。 (上表の樹例にキリがないため理解し難い。)	3-(3)				
45	24	15	黒の破線	生徒にとって理解し難い表現である。 (図(エ)のどの部分が黒の破線か理解し難い。)	3-(3)				
46	24	下段囲み	芯持材」	誤記である。 (「」)	3-(2)				
47	25	1	します。	誤記である。 (インデント)	3-(2)				
48	27	上図	全体	生徒にとって理解し難い図である。 (本文に記載の「製鉄」「製鋼」が図に示されていないため、理解し難い。)	3-(3)				
49	27	12	Cアングルと呼ばれる溝形鋼	誤りである。 (Cアングル)	3-(1)				
50	28	12 - 13	プラスチックは、・・・耐久性がある材料で多くの製品に用いられています。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (全てのプラスチックが、耐久性があると誤解をあたえるおそれがある。)	3-(3)				
51	28	17 - 18	熱硬化性プラスチックは、リサイクルしやすいという利点があることから、	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (熱硬化性プラスチックは、熱可塑性プラスチックと比較してリサイクルが困難である。)	3-(3)				
52	29	上表・ 下表	用途例 特性	誤記である。 (「用途例」「特性」の記載が逆である。)	3-(2)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 2. 欠陥箇所

受理番号 105-110		学校 中学校		教科 技術・家庭		種目 技術・家庭（技術分野）		学年 1-3	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
53	29	上表	熱可塑性プラスチック ナイロン樹脂 「機械特性に優れている」	生徒にとって理解し難い表現である。 （「機械特性に優れている」は理解し難い。）	3-(3)				
54	30	17 - 18	ハニカム構造は、トラス構造と比べると強度は劣りますが、柔軟な構造であり、	生徒にとって理解し難い表現である。 （ハニカム構造が、どのように柔軟な構造であるか理解し難い。）	3-(3)				
55	32	5 - 11	<発展>の記述及び図	学習指導要領に示す内容を発展的な学習内容として扱っている。 （内容A(1)イの「技術に込められた問題解決の工夫について考えること。」）	2-(15)				
56	33	表	表の中のタイトル 加工名称	誤記である。 （表の中のタイトル「加工名称」（2箇所））	3-(2)				
57	33	表	加工名称（右）③ 「3Dプリンタ」 「レーザーカッタ」	生徒にとって理解し難い表現である。 （接合加工とするのは理解し難い。）	3-(3)				
58	33	表	加工名称（右）④ 「焼入れ・焼戻し・焼なまし・焼ならし・メッキ加工」	不正確である。 （「焼入れ・焼戻し・焼なまし・焼ならし・メッキ加工」を、特殊加工とするのは不正確である。）	3-(1)				
59	33	表	加工名称（右）⑤ 「自動車 人工芝 食品包装用フィルム」	生徒にとって理解し難い表現である。 （自動車、人工芝、食品包装用フィルムを、加工名称とするのは理解し難い。）	3-(3)				
60	35	下段中央図	3Dプリンタの写真	特定の商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)				
61	36	4	[4行目]「目標」と、 [12行目]次に、	表記が不統一である。 （読点）	3-(4)				
62	36	10	考え、	誤記である。 （、）	3-(2)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 2. 欠陥箇所

受理番号 105-110		学校 中学校		教科 技術・家庭	種目 技術・家庭 (技術分野)	学年 1-3
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
63	38	中段図・下段図	正投影図の面の考え方 (図全体)	不正確である。 (中段①から③の平面図及び下段①から③の平面図において、それぞれ同じ図形を示している部分の面積が違う。)	3-(1)	
64	39	8	工業標準化法	誤りである。	3-(1)	
65	39	9	日本工業標準調査会	誤りである。	3-(1)	
66	39	15	製作図画像を入れる (マルチボード説明書作品例を加工する)	生徒にとって理解し難い表現である。 (「製作図画像」「マルチボード説明書作品例」の説明がなく、「線」との関係性も不明確のため、理解し難い。)	3-(3)	
67	40	中段図	[貫通しない穴の深さをかき表す時の例] 15キリ深さ20	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (JISでは、穴深さを表す寸法補助記号がないと誤解をあたえるおそれがある。)	3-(3)	
68	40	中段左図	Φ15深さ20	不正確である。 (Φ)	3-(1)	
69	41	13	GIGA端末 [122ページ 4行] GIGA端末	生徒にとって理解し難い表現である。 (「GIGA端末」について説明がなく理解し難い。)	3-(3)	
			[149ページ 24-25行] GIGA端末  [159ページ 10行] GIGA端末			
			[174ページ 3行] GIGA端末  [175ページ 2行]			
			GIGA端末  [同ページ 4行] GIGA端末			

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 2. 欠陥箇所

受理番号 105-110		学校 中学校		教科 技術・家庭		種目 技術・家庭 (技術分野)		学年 1-3	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
			[同ページ 7行] GIGA端末  [同ページ 9行] GIGA端末						
			[180ページ 19行] GIGA端末						
70	43	1	工作機械の指導前点検を行う。	誤記である。 (指導前点検)	3-(2)				
71	45	18	板材に円や円をかくときは、	生徒にとって理解し難い表現である。	3-(3)				
72	47	2 - 5	(ウ) 工作椅子や・・・。 (エ) 専用の箱型木口挽き台で・・・。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (本文は、右上の上下の図と位置が一致していないため、誤解するおそれがある。)	3-(3)				
73	47	7	刃わたりの“もと”	生徒にとって理解し難い表現である。 (どこが「もと」か理解し難い。)	3-(3)				
74	48	上段右 図	全体	生徒にとって理解し難い図である。 (同ページの5行目に「刃止め金具(上)」と記載されているが、図に具体的な記載がないため、理解し難い。)	3-(3)				
75	49	12	。。	誤記である。	3-(2)				
76	49	15	プラスチック用の刃つけた	脱字である。	3-(2)				
77	51	14	かんな台の木端	生徒にとって理解し難い表現である。 (かんなのどの部分が「木端」か理解し難い。)	3-(3)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 2. 欠陥箇所

受理番号 105-110		学校 中学校		教科 技術・家庭		種目 技術・家庭 (技術分野)		学年 1-3	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
78	51	23 - 24	裏金は下げておきます。	生徒にとって理解し難い表現である。 (どの程度裏金を下げるのか理解し難い。)	3-(3)				
79	53	7	布や紙にこの表面に	誤字である。 (紙にの)	3-(2)				
80	53	9 - 10	液体研磨剤とは、研磨剤と油などの液体に混ぜたもので	生徒にとって理解し難い表現である。 (「液体研磨剤とは、研磨剤と油などの液体に混ぜたもので」が理解し難い。)	3-(3)				
81	53	19	釘	表記が不統一である。 (13行目、22行目 くぎ)	3-(4)				
82	55	10	ヒーター	表記が不統一である。 (同ページ ⑥曲げ加工 プラスチックの曲げ加工表 ヒータ)	3-(4)				
83	56	下図	タップ回し	誤植である。 (タップの「タ」の一部が見えない。)	3-(2)				
84	58	上図	ノギスの図 くちばし ジョー (あご) デップスパー	表記が不統一である。 (本文では「内側用ジョウ」「外側用ジョウ」「デップスパー」と記載されており、表記が不統一である。)	3-(4)				
85	59	下表	仮組み立て 説明 木端の基準面 (//のしるし) が前面にくるよう注意しながら確かめる。	生徒が自ら活動を行えるよう適切な配慮がされていない。 (本文の「木端の基準面 (//のしるし)」が図に記載されていないため、適切な配慮がされていない。)	2-(14)				
86	60	11	頭部は丸頭や平頭があります。	表記が不統一である。 (本文では「丸頭」「平頭」と記載されているが、図では「丸」「平」となっている。)	3-(4)				
87	62	5	1. 6 倍	誤りである。	3-(1)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 2. 欠陥箇所

受理番号 105-110		学校 中学校		教科 技術・家庭		種目 技術・家庭（技術分野）		学年 1-3	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
88	62	10	フラックス	生徒にとって理解し難い表現である。 (説明がなく理解し難い。)	3-(3)				
89	62	26	サンダ	表記が不統一である。 (P52 9行目 ベルトサンダ)	3-(4)				
90	63	14 - 16	スプレー缶を塗装面から3～20cm はなして、・・・ふきつけます。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (スプレー缶を塗装面から3cm離すことが一般的 と誤解する。)	3-(3)				
91	64	中段図	[木工用塗料による着色の例] 図	生徒にとって理解し難い図である。 (上表では、木材用塗料と記載されており、本図の 木工用塗料との関係性が理解し難い。)	3-(3)				
92	65	表	②課題を設定する 「課題を解決する方法を設定する。」	生徒にとって理解し難い表現である。 (本文の「問題を解決するために、やるべきことが 課題です。課題を設定するときは新しい発想を生み 出して、友だちと協力しながら問題の解決に取り組 みましよう。」と整合しておらず、理解し難い。)	3-(3)				
93	66	6 - 10	材料（全体）	不正確である。 (p67●アルミジョイントの加工の左図「皿ボルト 1本」が示されていない。)	3-(1)				
94	67	3 - 4	材料取り図、部品図、完成図、製作に 必要な材料、製作工程を設計図にまと めてみよう。	生徒にとって理解し難い表現である。 (同ページ右図の「設計用紙の例」の内容と一致し ていないため、理解し難い。)	3-(3)				
95	67	⑥図	材料取り図 天板の長さ 110	誤りである。	3-(1)				
96	67	中段	[⑥製作 ●けがき、材料取り] 図	不正確である。 (幅220mmの板材における脚2，脚3の間隔の図示が 不正確である。)	3-(1)				
97	67	⑥図	図 天板の加工（右上） 皿の角度	不正確である。	3-(1)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 2. 欠陥箇所

受理番号 105-110		学校 中学校		教科 技術・家庭		種目 技術・家庭（技術分野）		学年 1-3	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
98	67	下段	[⑥製作 ●アルミジョイントの加工] 図 マシンオイル	表記不統一である。 (P56 16行目 マシン油)	3-(4)				
99	68	中段図	全体（完成形の写真）	生徒にとって理解し難い図である。 (同ページ8行目の「アクセサリやスマートフォンの充電器が散らかっている」という「問題の発見」に対応する製作品の写真として、理解し難い。)	3-(3)				
100	69	2	⑤設計 [2行目]	生徒にとって理解し難い表現である。 (⑥「けがき、材料取り」の材料の幅と比較し、板材が幅が大きい。)	3-(3)				
101	69	4 - 5	材料取り図、部品図、完成図、製作に必要な材料、製作工程を設計図にまとめてみよう。	生徒にとって理解し難い表現である。 (同ページ右図の「設計用紙の例」の内容と一致していないため、理解し難い。)	3-(3)				
102	69	⑥図	●けがき、材料取り 右図全体	不正確である。 (同ページの「部品の加工」の図「板材の加工」の「1A」「1B」に、三角部の一つの角を取ることが記載されているが、図には示されていない。)	3-(1)				
103	69	⑥図	●組み立て・仕上げ ロータスパイプ用ビス ロータスパイプ	表記が不統一である。 (p68下段囲みの材料及び同ページ⑥●部品の加工には「アルミパイプ」と記載されている。)	3-(4)				
104	70	中段図	写真	生徒にとって理解し難い図である。 (p70「やってみよう（木材を使って製作したラックに、金属やプラスチックを利用して、小物かけやスタンドなどの機能を追加してみよう。）」と異なる。)	3-(3)				
105	70	10	レーザーカッター（超音波加工機）	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (「レーザーカッター」が「超音波加工機」であると誤解するおそれがある。)	3-(3)				
106	71	ページ 全体	5. 技術の概念を理解しよう（全体）	全体として系統的に構成されていない。 (トレード・オフと3Rの関係性の説明がされていない。)	2-(12)				
107	71	18	カドミウム	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (カドミウムの除去について)	3-(3)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 2. 欠陥箇所

受理番号 105-110		学校 中学校		教科 技術・家庭		種目 技術・家庭（技術分野）		学年 1-3	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
108	71	22 - 26	都市でごみとして・・・都市鉱山とよぶことがあります。	生徒にとって理解し難い表現である。 （「都市鉱山」からリデュースの考え方へのつながりについて理解し難い。）	3-(3)				
109	72	17 - 18	マイクロプラスチックが環境汚染の一因となっているマイナス面があります。	生徒にとって理解し難い表現である。 （15行目から18行名の文において、「マイクロプラスチック」とのつながりが理解し難い。）	3-(3)				
110	73	表	EU（欧州連合） 一部プラスチック製品の流通を禁止する措置を提案	不正確である。 （禁止する措置を提案）	3-(1)				
111	76	5	生物育成の技術には、作物の栽培、畜産、水産、林業などがあり、	生徒にとって理解し難い表現である。 （作物の栽培、畜産、水産、林業などが生物育成の技術ということが理解し難い。）	3-(3)				
112	76	6	食べ物 [77ページ4行]食料 [77ページ8行]食料 [77ページ中段左 図]食料 [117ページ14行]食物	生徒にとって理解し難い表現である。 （「食べ物」「食料」「食物」の使い分け方が理解し難い。）	3-(3)				
			[117ページ18行]食物 [119ページ2行]食料 [119ページ13行]食物 [119ページ20行]食物(2か所) [119ページ21行]食物						
113	77	9	品種	生徒にとって理解し難い表現である。 （説明がなく理解し難い。）	3-(3)				
114	78	上段左	[成長を管理する技術]与える水の量を変えたりする。 [79ページ上段右 成長を管理する技術]根から水分を吸収するため、水は根元に与える。	生徒にとって理解し難い表現である。 （[79ページ 下段中 環境を調節する技術 土壌的要素]「水分」からみて成長を管理する技術ということが理解し難い。）	3-(3)				
115	78	上段中	干し草のほかに炭水化物やタンパク質成分などの多い餌を与えたりする。 [114ページ13～14行]牧草のほかにトウモロコシやカルシウムを含む餌を与えます。	生徒にとって理解し難い表現である。 （餌として与える成分が異なり理解し難い。）	3-(3)				
116	79	上段右	大きな実にするため、わき芽を摘み取って、残した実に養分を送る。	生徒にとって理解し難い表現である。 （実は摘み取っていないのに「残した実」が理解し難い。）	3-(3)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 2. 欠陥箇所

受理番号 105-110		学校 中学校		教科 技術・家庭		種目 技術・家庭 (技術分野)		学年 1-3	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
117	79	上段右	わき芽	生徒にとって理解し難い表現である。 (説明がなく理解し難い。)	3-(3)				
118	79	中段	[環境を調節する技術 気象的要素]気温、温度	生徒にとって理解し難い表現である。 (「気温」と「温度」の使い分け方が理解し難い。)	3-(3)				
119	79	中段	[環境を調節する技術 気象的要素]作物は、日光を受けて光合成を行うことで健康に育つ。	生徒にとって理解し難い表現である。 (技術に関する記載がなく理解し難い。)	3-(3)				
120	80	3 - 4	土壌を使わず作物に必要な栄養素を溶かした培養液を使用する水耕栽培	不正確である。 (水耕栽培の説明として不正確である。)	3-(1)				
121	80	4	ロックウール ピートモス [12行]腐葉土	生徒にとって理解し難い表現である。 (説明がなく理解し難い。)	3-(3)				
122	80	12	家畜のふん [82ページ 下段表]発酵鶏ふん [92ページ 上段図]鶏糞 [94ページ20～21行]牛糞堆肥・鶏糞堆肥	生徒にとって理解し難い表現である。 (「ふん」と「糞」, 「発酵鶏ふん」と「鶏糞堆肥」の使い分け方が理解し難い。)	3-(3)				
123	80	12 - 13	家畜のふんなどを発酵させた堆肥 [82ページ]全体 [94ページ20～21行]牛糞堆肥・鶏糞堆肥	生徒にとって理解し難い表現である。 ([82ページ]「全体」に「堆肥」「牛糞堆肥・鶏糞堆肥」の説明がなく理解し難い。)	3-(3)				
124	80	14	石灰 [15行]石灰 [81ページ表タイトル]石灰 [81ページ6行]石灰 [81ページ17行]石灰	不正確である。	3-(1)				
			[99ページ表 平ぐわ]石灰						
125	81	4 - 6	毎年同じ場所で栽培すると病害虫が発生しやすくなることがあります。これを連作障害といいます。	不正確である。 (連作障害の説明として不正確である。)	3-(1)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 2. 欠陥箇所

受理番号 105-110		学校 中学校		教科 技術・家庭		種目 技術・家庭 (技術分野)		学年 1-3	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
126	81	6 - 7	同じ場所に性質の異なる作物を順に栽培する輪作、	不正確である。 (輪作の説明として不正確である。)	3-(1)				
127	81	13	PH [14行]PH計 [中段右 図]PH [101ページ表](PH)計 酸度(PH)	不正確である。	3-(1)				
128	81	17	パーミキュライト	生徒にとって理解し難い表現である。 (説明がなく理解し難い。)	3-(3)				
129	81	上段表	アルカリ分の含有量 80%以上 60%以上 55%以上 20~40%	生徒にとって理解し難い表現である。 (含有量を%と記載することが理解し難い。)	3-(3)				
130	81	上段表	[苦土石灰]55%以上	誤りである。 (公定規格と異なる。)	3-(1)				
131	81	中段図	6.0から6.5の間の図	生徒にとって理解し難い図である。 (カボチャ、インゲン、小カブの方がピーマン、キュウリ、トマト、ナスより酸性を好むのか、同じ程度であるのかが理解し難い。)	3-(3)				
132	81	中段図	小カブ 長ネギ	不正確である。 (作物名の表記として不正確である。)	3-(1)				
133	82	1	肥料には、化成肥料と有機質肥料があります。 [94ページ20行]化成肥料	誤りである。 (化成肥料)	3-(1)				
134	82	1 - 2	化成肥料は、鉱物などの原料から化学的に合成してつくられた肥料 [82ページ5~6行]一般的には、チッ素、リン、カリウムのうち1種類を含んでいるものを単肥といい、2種類以上	不正確である。 (化成肥料の説明や分類が不正確である。)	3-(1)				
			を含んでいるものを複合肥料といいます。						

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 2. 欠陥箇所

受理番号 105-110		学校 中学校		教科 技術・家庭	種目 技術・家庭 (技術分野)	学年 1-3
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
135	82	上段表	[チッ素(N)]葉や根の成長に役立つ。 [リン(P)]成長のさかんな部分(花、果実、種など)の発育に役立つ。 [カリウム(K)]光合成をさかんにし、果実や根をよく育てる。	生徒にとって理解し難い表である。 (表間でチッ素, リン, カリウムのはたらきが異なり理解し難い。)	3-(3)	
			[82ページ下の表] [油かす チッ素]茎や葉の成長促進 [魚ふん チッ素、リン]果実、葉の成長促進 [発酵鶏ふん チッ素、リン、カリウ			
			ム]果実の成長促進 [骨粉 リン]花や果実、根の成長促進 [草木灰 カリウム]根の成長促進 [有機石灰 チッ素、リン]土壌の酸度調整			
136	82	上段表	[リン(P)]成長のさかんな部分(花、果実、種など)の発育に役立つ。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (発育だけに役立つと誤解する。)	3-(3)	
137	82	下段表	主な肥料	生徒にとって理解し難い表である。 (「主な肥料」と[82ページ1行]「肥料には、化成肥料と有機質肥料があります。」との関係および「主な肥料」と[80ページ13行]「堆肥」との関係が理解し難い。)	3-(3)	
138	82	下段表	[油かす 特徴]土の中の微生物により分解され、ゆっくりと効果が現れるので、元肥に利用する。また、土壌微生物を増やし、土の団粒化を促す土づくりにも効果がある。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (油かすだけの特徴と誤解する。)	3-(3)	
139	82	下段表	[発酵鶏ふん 特徴]特にリン酸が豊富。	表記が不統一である。 ([発酵鶏ふん 主成分]「リン」と表記が不統一である。)	3-(4)	
140	82	下段表	[骨粉 特徴]リンは、根や微生物の分泌物に少しずつ溶けて根から吸収されるため、効果が長続きする。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (骨粉だけの特徴と誤解する。)	3-(3)	
141	82	下段表	[有機石灰 主成分]チッ素、リン	生徒にとって理解し難い表現である。 (主成分が「チッ素、リン」であることが理解し難い。)	3-(3)	
142	83	7	分球…親球の横に新しくついた子球を切り離して	生徒にとって理解し難い表現である。 (「親球」「子球」の説明がなく理解し難い。)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 2. 欠陥箇所

受理番号 105-110		学校 中学校	教科 技術・家庭	種目 技術・家庭 (技術分野)	学年 1-3
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
143	83	17	1列ずつ等間隔に種をまく方法です。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (必ず1列ずつ等間隔にまかなければならないと誤解する。)	3-(3)
144	83	19	コメ [94ページ11～12行]コメの主な種類としては、食用米の白米、黒米、赤米や、酒づくりに使われる酒米や餌用のコメなどがあり、品種改良され、日本各	不正確である。 (「コメ」は作物名でない。)	3-(1)
			地で栽培されています。 [100ページ9行]コメの収穫		
145	83	23	まいた種の間隔が狭くなるので、発芽後に間引きが必要です。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (必ず間引きを行う必要があると誤解する。)	3-(3)
146	83	23	間引き	生徒にとって理解し難い表現である。 (説明がなく理解し難い。)	3-(3)
147	83	26	株の一部を切りとり、土壌などに挿して発根させることを挿し木・挿し芽といいます。	生徒にとって理解し難い表現である。 (挿し木と挿し芽の違いの説明がなく理解し難い。)	3-(3)
148	83	中段図	タネまき	表記が不統一である。 ([10行]「種まき」と表記が不統一である。)	3-(4)
149	84	16 - 17	根に栄養分がじゅうぶんに行き渡るようになります。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (根だけと誤解する。)	3-(3)
150	84	図	[摘芽]「わき芽→」の右側にある文字	誤記である。 (文字の右半分がない。)	3-(2)
151	85	15	土の通気性を高めるために、作物の生育途中で浅くうねを耕すことを中耕といいます。 [99ページ下段 表 平ぐわ]中耕・土寄せ…土を耕してやわらかくしたり、□	生徒にとって理解し難い表現である。 (説明が異なり理解し難い。)	3-(3)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 2. 欠陥箇所

受理番号 105-110		学校 中学校		教科 技術・家庭		種目 技術・家庭 (技術分野)		学年 1-3	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
152	86	2 - 3	マリーゴールドの根から分泌される成分が土壌中の害虫の一種であるセンチュウを遠ざけ、	生徒が誤解するおそれのある表現である。(センチュウを遠ざける効果しかないと誤解する。)	3-(3)				
153	86	3 - 4	葉から発するにおいがアオムシやアブラムシなどの害虫がつくのを防ぐといった効果	生徒が誤解するおそれのある表現である。(葉から発するにおいだけが効果があり、アオムシやアブラムシに特に有効と誤解する。)	3-(3)				
154	87	3	ウドンコ [3行]根コブ病 [上段中写真]ウドンコ病 [上段右写真]根コブ病	不正確である。(病名の正式表記でない。)	3-(1)				
155	87	8 - 9	店頭で並んでいる作物の中には、完熟すると保存性が失われるものもあるため、店頭に並ぶまでの期間を考慮しながら完熟前に収穫します。	生徒が誤解するおそれのある表現である。(具体的な作物名がなく、完熟すると保存性が全くなると誤解する。)	3-(3)				
156	87	10 - 11	作物は収穫時と同じような状態で保存をすると、長く保存ができます。	生徒が誤解するおそれのある表現である。(収穫時と何が同じような状態であるかの説明がなく、全ての作物で長く保存できると誤解する。)	3-(3)				
157	87	12	養液栽培	生徒にとって理解し難い表現である。(説明がなく理解し難い。)	3-(3)				
158	87	12	養液	不正確である。(専門用語として不正確である。)	3-(1)				
159	87	13 - 14	土の中に残った作物の根などをふるいにかけて取り除いたりする	生徒が誤解するおそれのある表現である。(全ての栽培法で行うと誤解する。)	3-(3)				
160	88	中段図	間伐(10年目～15年目) 枝打ち(15～25年目)	生徒にとって理解し難い表現である。(実施時期の関係が理解し難い。)	3-(3)				
161	88	表	全体	誤りである。(人工林面積のデータではない。)	3-(1)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 2. 欠陥箇所

受理番号 105-110		学校 中学校		教科 技術・家庭		種目 技術・家庭 (技術分野)		学年 1-3	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
162	89	2	帯のご盤で縦に割る	生徒にとって理解し難い表現である。 (どれが「帯のご盤」であるのかおよび「縦に割る」の説明がなく理解し難い。)	3-(3)				
163	89	3	自然乾燥の状態に戻す	生徒にとって理解し難い表現である。 (「自然乾燥の状態に戻す」が理解し難い。)	3-(3)				
164	89	9	伐採した後は花粉の少ない樹種の苗木	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (花粉の少ない別の樹種の苗木だけと誤解する。)	3-(3)				
165	90	5	気仙沼市湾	誤りである。	3-(1)				
166	90	7 - 9	野生動物であったものを飼育し、繁殖させ、品種改良したものを家畜といます。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (野生生物に品種があると誤解する。)	3-(3)				
167	90	8	品種改良	生徒にとって理解し難い表現である。 (説明がなく理解し難い。)	3-(3)				
168	90	18	家畜の活動に影響が出る最低・最高温度のことを生産環境限界温度という。	生徒にとって理解し難い表現である。 (全ての温度域で温度は家畜の活動に影響を及ぼしているため「活動に影響の出る最低・最高温度」が理解し難い。)	3-(3)				
169	90	上段右	[写真]出典：林野庁webページ	不正確である。	3-(1)				
170	91	2 - 3	サイレージ(乾草やトウモロコシなどの作物をサイロに入れて、空気中や草についている乳酸菌を利用して乳酸発酵させた餌)	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (乾草や[4行]「トウモロコシ」と同じトウモロコシなどをサイロに入れたものだけをサイレージという)と誤解する。)	3-(3)				
171	91	4	トウモロコシやダイズ、米ぬか、オオムギ、トウモロコシなど、	生徒にとって理解し難い表現である。 (トウモロコシが重複して記載されていることが理解し難い。)	3-(3)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 2. 欠陥箇所

受理番号 105-110		学校 中学校		教科 技術・家庭		種目 技術・家庭 (技術分野)		学年 1-3	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
172	91	4	食物繊維	不正確である。 (畜産用語として不正確である。)	3-(1)				
173	91	5 - 6	餌の与えすぎや不足は、家畜の成長に大きな影響を与えます。	生徒にとって理解し難い表現である。 (餌の与えすぎた場合の影響の記載がなく理解し難い。)	3-(3)				
174	91	6 - 7	発育段階に応じて必要な栄養分と繊維質などをバランスよく与えることが大切です。	生徒にとって理解し難い表現である。 (何がバランスがいいのかの説明がなく理解し難い。)	3-(3)				
175	91	6	必要な栄養分と繊維質など	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (繊維質が栄養分でないかと誤解する。)	3-(3)				
176	91	9 - 10	最近では、家畜のふん尿を有効活用する技術の開発も進んでいます。ふん尿をワラに混ぜて堆肥にしたり、	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (ふん尿回収後にワラと混ぜると誤解するおよびふん尿を堆肥することが、最近、進んだ技術の開発と誤解する。)	3-(3)				
177	91	15 - 16	近年では、人工授精や受精卵移植といった家畜の繁殖技術や家畜の餌・栄養管理技術の研究なども進んでいます。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (人工授精や受精卵移植が近年、進んでいる研究段階のものと誤解する。)	3-(3)				
178	91	15 - 16	家畜の餌・栄養管理技術の研究なども進んでいます。	生徒にとって理解し難い表現である。 (どのような研究が進んでいるのかの記載がなく、[13行]「⑤繁殖」の項目の中に記載してあることが理解し難い。)	3-(3)				
179	91	写真	洗浄・殺菌 [92ページ4行]・洗浄・殺菌…工場に集められた生乳を、洗浄・殺菌し、冷却します。	生徒にとって理解し難い表現である。 (生乳を洗浄することが理解し難い。)	3-(3)				
180	91	写真	検査の写真	生徒にとって理解し難い写真である。 (検査の写真であることが理解し難い。)	3-(3)				
181	91	写真	検査→充填・出荷 [92ページ5～6行]・検査…できあがった牛乳の品質や衛生面、安全面について厳しく検査します。 ・充填・出荷…容器に牛乳を充填し、	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (一般的に検査してから充填すると誤解する。)	3-(3)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 2. 欠陥箇所

受理番号 105-110		学校 中学校		教科 技術・家庭		種目 技術・家庭 (技術分野)		学年 1-3	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
			各地へ出荷します						
182	92	9 - 12	サルモネラ菌などの汚染です。菌の感染を防ぐために、採卵鶏に適切なワクチネーションを行ったり、換気、温度管理などに配慮した鶏舎で飼育したりします。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (記載されたものだけが菌の感染を防ぐ方法と誤解する。)	3-(3)				
183	92	上段右	[図]選卵 入卵	生徒にとって理解し難い表現である。 (説明がなく理解し難い。)	3-(3)				
184	92	上段右	[図]エサ	表記が不統一である。 ([90ページ12行]「餌」と不統一である。)	3-(4)				
185	93	3	移植	表記が不統一である。 ([3行]「移殖」と表記が不統一である。)	3-(4)				
186	93	8 - 9	いかだ式で養殖します。また、ブリ、クルマエビ、タイなどは内湾域や網仕切りで養殖します。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (内湾域が養殖方法と誤解する。)	3-(3)				
187	93	13 - 14	ノリは、森の土壌から川へ溶け出して海に運ばれてくるチッ素、リンなどを食べて育ちます。	生徒にとって理解し難い表現である。 (ノリが食べることが理解し難い。)	3-(3)				
188	93	16	海水温が約24° 以上	誤記である。 (24° )	3-(2)				
189	93	18 - 19	品種改良によって短期間で収穫できるノリが開発されるなど、環境変動に適応した品種の開発技術の研究が進められています。	生徒にとって理解し難い表現である。 (品種を開発するための技術の研究と誤解する。)	3-(3)				
190	93	中段中	[図]網仕切り式養殖	誤りである。	3-(1)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 2. 欠陥箇所

受理番号 105-110		学校 中学校		教科 技術・家庭	種目 技術・家庭（技術分野）	学年 1-3
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
191	93	中段右	[図]出典：農林水産省Webページ	不正確である。	3-(1)	
192	94 - 96		[2. 技術に込められた問題解決の工夫について考えよう]全体	生徒にとって理解し難い表現である。 (「技術に込められた問題解決の工夫について考えよう」との関係について理解し難い。)	3-(3)	
193	94	2	私たちの祖先は、約1万年前までは野生の植物や動物を採集・狩猟して生きていた	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (日本で約1万年前までと誤解する。)	3-(3)	
194	94	4 - 5	品種改良などによって安全性や栄養価を高めたりする技術を生み出してきました。	生徒にとって理解し難い表現である。 (品種改良などによって生み出された安全性や栄養価を高めたりする技術が何かの説明がなく理解し難い。)	3-(3)	
195	94	7 - 9	日本において主食であるコメは、コムギ、トウモロコシと並ぶ世界三大穀物の一つで、イネの種子の部分をいいます。	不正確である。 (コメが「イネの種子の部分」が不正確である。)	3-(1)	
196	94	11 - 12	コメの主な種類としては、食用米の白米、黒米、赤米や、酒づくりに使われる酒米や餌用のコメなどがあり、品種改良され、日本各地で栽培されています。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (黒米や赤米が一般的な食用米であり、黒米や赤米が白米と同様に品種改良され、日本各地で栽培されていると誤解する。)	3-(3)	
197	94	13 - 14	日本のイネの多くは水田で栽培されており、これを水稲といいます。イネは畑で栽培することもでき、これを陸稲といいます。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (全てのイネが畑で栽培することもできる陸稲であると誤解する。)	3-(3)	
198	94	15	玄米から糠を取り除くと白米になります。	不正確である。 (糠)	3-(1)	
199	94	15	白米になります。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 ([11行]「食用米の白米」の白米と同じものと誤解する。)	3-(3)	
200	94	16	イネの栽培の技術は、機械化や品種改良によって収穫量と品質が向上しました。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「イネの栽培の技術」と「機械化や品種改良によって収穫量と品質が向上しました。」との関係が理解し難い。)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 2. 欠陥箇所

受理番号 105-110		学校 中学校		教科 技術・家庭		種目 技術・家庭 (技術分野)		学年 1-3	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
201	94	21 - 22	地元有機資材を活用といった	誤記である。	3-(2)				
202	94	22 - 27	イネと多様な生きものを育み、コウノトリも住める豊かな文化、地域、環境づくりを目指す「コウノトリ育む農法(安全な農産物と生きものを同時に育む農法)」	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (作物としてはイネだけと誤解する)	3-(3)				
			[27~29行]収穫したイネは環境へ配慮している点が評価されています。						
203	94	下段右	[図]出典：JAたじまWebページ	不正確である。	3-(1)				
204	95	1 - 6	(2)トマトの品種改良 トマトの起源は、～栽培が広まりました。	生徒にとって理解し難い表現である。 (トマトの品種改良の記載がなく理解し難い。)	3-(3)				
205	95	8 - 9	トウモロコシの中には、植物工場で水耕栽培されているものがあります。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (水耕栽培を誤解する。)	3-(3)				
206	95	17	発芽促進…温度・湿度などが管理された暗所に置き、根の生育と茎の伸長を促します。 [96ページ上段右]発芽促進	誤りである。 (発芽促進の説明ではない。)	3-(1)				
207	95	17	根の生育と茎の伸長 [96ページ3行]エンドウの成長	生徒にとって理解し難い表現である。 (「生育」「伸長」「成長」の使い分け方が理解し難い。)	3-(3)				
208	96	1	ハウス	生徒にとって理解し難い表現である。 ([95ページ14行]「工場」との関係が理解し難い。)	3-(3)				
209	97	12	野菜の収穫時期、作物の品質と収穫量の向上	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (「野菜」と「作物」の使い分け方が理解し難い。)	3-(3)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 2. 欠陥箇所

受理番号 105-110		学校 中学校		教科 技術・家庭		種目 技術・家庭 (技術分野)		学年 1-3	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
210	97	12 - 13	地球温暖化を防止するための作物の選択と利用	生徒にとって理解し難い表現である。 (どのような作物を選択・利用すれば地球温暖化が防止できるのかが理解し難い。)	3-(3)				
211	98	上段中	写真	特定の商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)				
212	99	18 - 19	金属製の用具・機械は、水洗いをして汚れを落とし、水気を拭き取り、さび止めのため潤滑油や刃物用油などを塗り、余分な油を拭き取って、倉庫で保管します。	生徒にとって理解し難い表現である。 (説明が異なり理解し難い。)	3-(3)				
			[101ページ8~9行]用具について土を落とし、さびないように十分に乾かしてから元の場所に片づける。刃物用油を塗っておくとさびにくい。						
213	99	下段	[表 平ぐわ うね立て]腹の部分	生徒にとって理解し難い表現である。 (説明がなく理解し難い。)	3-(3)				
214	100	8	ホースリール かん水に用いる。 ホースリールの写真	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (ホースリールを誤解する。)	3-(3)				
215	100	10	ハサミ [106ページ表]園芸用はさみ [109ページ表]園芸用はさみ(2か所) [110ページ表]園芸用はさみ(2か所) [111ページ表]園芸用はさみ	生徒にとって理解し難い表現である。 (「ハサミ」と「園芸用はさみ」の使い分け方が理解し難い。)	3-(3)				
216	101	13 - 14	収穫後に消費することや環境への影響を考へて、農薬は農薬取締法による登録を受けたものを使います。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (使用できる農薬について誤解する。)	3-(3)				
217	102		[トマトの露地栽培]全体 [103ページ ナスの露地栽培]全体 [104ページ ホウレンソウの露地栽培]全体 [105ページ サツマイモの露地栽培]	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (元肥の記載がなく一般的には元肥は不要と誤解する。)	3-(3)				
			全体						

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 2. 欠陥箇所

受理番号 105-110		学校 中学校		教科 技術・家庭	種目 技術・家庭 (技術分野)	学年 1-3
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
218	102	2 - 4	種まきから始める場合は、発芽してから定植できる大きさの苗に育つまで、50～60日かかります。苗を使う場合は、直径12～15cmのポットで育てます。 [103ページ2～4行]種まきから始める	生徒にとって理解し難い表現である。 (種まきから始める場合、何を使って育てるかの記載がなく理解し難い。)	3-(3)	
			場合は、発芽してから定植できる大きさの苗に育つまで、約90日かかります。苗を使う場合は、直径12～15cmのポットで1番花が開花するまで育てましょう。			
219	102	2 - 4	種まきから始める場合は、発芽してから定植できる大きさの苗に育つまで、50～60日かかります。苗を使う場合は、直径12～15cmのポットで育てます。 [上段右 栽培暦の図]全体	生徒にとって理解し難い表現、図である。 (図の栽培の期間が「種まきから始める場合」か「苗を使う場合」の説明がないことおよび栽培の記号がないのに収穫の記号が続くことが理解し難い。)	3-(3)	
			[103ページ2～4行]種まきから始める場合は、発芽してから定植できる大きさの苗に育つまで、約90日かかります。苗を使う場合は、直径12～15cmのポ			
			ットで1番花が開花するまで育てましょう。 [103ページ上段右 栽培暦の図]全体			
220	102	3 - 4	苗を使う場合は、直径12～15cmのポットで育てます。 [上段右 鉢植えの図]全体  [103ページ3～4行]苗を使う場合は、	生徒にとって理解し難い表現、図である。 (本文に図との関係の説明がなく理解し難い。)	3-(3)	
			直径12～15cmのポットで1番花が開花するまで育てましょう。 [103ページ上段右 鉢植えの図]全体			
221	102	7	朝霜の心配がない [103ページ7行]朝霜の心配がない	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (農業で「朝霜」というと誤解する。)	3-(3)	
222	102	9 - 10	(一般的な露地栽培では5月上旬～中旬)に定植します。 [上段 図]全体  [103ページ8～9行] (一般的な露地栽	生徒にとって理解し難い表現、図である。 (「一般的」と「冷涼地」「中間地」「暖地」との関係が理解し難い。)	3-(3)	
			培では5月上旬～中旬)、晴れた日の午前中に定植します。 [103ページ上段 図]全体			

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 2. 欠陥箇所

受理番号 105-110		学校 中学校		教科 技術・家庭	種目 技術・家庭 (技術分野)	学年 1-3
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
223	102	12 - 13	定植後は、水分と地温を確保するためにマルチングをします。 [中段右 定植後の図]全体  [103ページ11～12行]定植後は、水分	誤りである。 (定植後に図のようなマルチングをすることは誤りである。)	3-(1)	
			と地温を確保するためにマルチングをします。 [中段右 定植後の図]全体			
224	102	中段右	生育適温 昼間20～25℃ 夜間8～13℃ [103ページ中段右]生育適温 昼間28～32℃ 夜間18～25℃ [107ページ5行]栽培適温:16～20℃	生徒にとって理解し難い表現である。 (「生育適温」と「栽培適温」の使い分け方が理解し難い。)	3-(3)	
			[108ページ下段表]栽培適温 15～20℃ 20～25℃ [109ページ7行]栽培適温:20～30℃ [110ページ7行]栽培適温:15～25℃ [111ページ5行]栽培適温:15℃以上			
225	102	下段右	図の上の紫色の線	生徒にとって理解し難い図である。 (説明がなく理解し難い。)	3-(3)	
226	103	16	敷きワラなどをして地温の上昇をやわらげ、	生徒にとって理解し難い表現である。 (「[11～12行]「地温を確保するためにマルチングをします。」との関係が理解し難い。)	3-(3)	
227	103	中段右	仮支柱立て 定植後、苗が風にゆれないように、50cmくらいの仮支柱を立てる [図]支柱	生徒にとって理解し難い表現、図である。 (仮支柱と支柱の関係が理解し難い。)	3-(3)	
228	103	中段右	うね幅150～180cmの指示位置	誤りである。	3-(1)	
229	103	下段左	主枝…一番太い幹から直接枝分かれした枝のこと。	誤りである。	3-(1)	
230	103	下段右	[図]②側枝を伸ばす ③側枝を伸ばす。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (伸ばした後も側枝という誤解する。)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 2. 欠陥箇所

受理番号 105-110		学校 中学校		教科 技術・家庭	種目 技術・家庭 (技術分野)	学年 1-3
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
231	104	7 - 9	かぶせる土の厚さを一定にすることで、発芽後の生育のムラをなくすことができます。	生徒にとって理解し難い表現である。 (なぜ発芽後の生育のムラがなくなるかの説明がなく理解し難い。)	3-(3)	
232	104	18 - 19	収穫後に根は切り取ります。 [下段右 図]刈り取り収穫 地際から切り取り収穫する	生徒にとって理解し難い表現である。 (説明が異なり理解し難い。)	3-(3)	
233	104	上段左	発芽温度は15～20℃ [4行]ホウレンソウの発芽に適した温度はおおよそ15～20℃です。 [107ページ3行]発芽適温:20℃前後 [108ページ下段表]発芽適温 15～25	生徒にとって理解し難い表現である。 (「発芽温度」と「発芽適温」の使い分け方が理解し難い。)	3-(3)	
			℃ 20～25℃ [109ページ5行]発芽適温:25～30℃ [110ページ5行]発芽適温:20℃前後 [111ページ3行]発芽適温:25℃前後			
234	105	14 - 16	収穫後は、気温13℃、湿度90～95%、イモに直接風が当たらないようにして2～3週間貯蔵しておく、酵素の働きによってデンプンが麦芽糖に変わり甘みが増します。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (気温13℃でないと甘みが増さないと誤解する。)	3-(3)	
235	105	16	麦芽糖	誤りである。	3-(1)	
236	105	上段右	[図]植え付け [2行]定植 [7行]定植 [10行]定植後 [11行]定植後	生徒にとって理解し難い表現、図である。 (「植え付け」「定植」の使い分け方が理解し難い。)	3-(3)	
			[13行]定植 [中段中 図]定植の例			
237	105	上段右	[図](年内まで貯蔵可能)	生徒にとって理解し難い表現である。 (「年内まで貯蔵可能」が理解し難い。)	3-(3)	
238	106	1	栽培例	生徒にとって理解し難い表現である。 ([107ページ1行]「実習例」との違いの説明がなく理解し難い。)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 2. 欠陥箇所

受理番号 105-110		学校 中学校		教科 技術・家庭		種目 技術・家庭（技術分野）		学年 1-3	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
239	106	1	土耕栽培 [107ページ1行]土耕栽培 [109ページ1行]土耕栽培 [110ページ1行]土耕栽培 [111ページ1行]土耕栽培	生徒にとって理解し難い表現である。 （[80ページ上段右]「容器栽培」との違いの説明がなく理解し難い。）	3-(3)				
240	106	7	一番下の葉 [下段右 写真]一番下の葉	不正確である。 （一番下の葉）	3-(1)				
241	106	上段中	[写真]不織布	生徒にとって理解し難い表現である。 （説明がなく理解し難い。）	3-(3)				
242	106	上段中	[写真]肥料 [中段 表]全体  [109ページ中段中 写真]肥料 [109ページ下段 表]全体	生徒にとって理解し難い表現、表、写真である。 （肥料を施用する記載がなく理解し難い。）	3-(3)				
243	106	中段中	種を1か所に片寄らないようにしてま く。 [109ページ 下段中]種を1か所に片寄 らないようにしてま く。 [110ページ 下段中]種を1か所に片寄	生徒にとって理解し難い表現である。 （どのような方法でま くかの記載がなく理解し難い 。）	3-(3)				
			らないようにしてま く。 [111ページ 下段中]種を1か所に片寄 らないようにしてま く。						
244	106	中段右	トウミョウの種	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （トウミョウという作物の種があると誤解する。）	3-(3)				
245	107	上段左	収穫目安：およそ1か月半 [下段中 ⑤収穫]種まきからおよそ45 日 [108ページ下段]収穫までの日数 お よそ70日 およそ1か月半	生徒にとって理解し難い表現である。 （「収穫目安」「種まきからおよそ45日」「収穫ま での日数」の使い分け方および日数と月数の使い分 け方が理解し難い。）	3-(3)				
			[109ページ上段左]収穫目安：3～4か 月 [110ページ上段左]収穫目安：20～30 日 [111ページ上段左 開花時期]約2か月						
			半						

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 2. 欠陥箇所

受理番号 105-110		学校 中学校		教科 技術・家庭		種目 技術・家庭 (技術分野)		学年 1-3	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
246	107	中段中	種の左の長方形のもの [108ページ 中段中]種の左の長方形のもの	生徒にとって理解し難い写真である。 (説明がなく理解し難い。)	3-(3)				
247	107	中段中	種はばらまきにする。 [下段左]写真	生徒にとって理解し難い表現、写真である。 (ばらまきした時の写真であるとは理解し難い。)	3-(3)				
248	109	中段左	[写真]肥料の写真	特定の商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)				
249	110	上段右	写真 [中段中]写真	特定の商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)				
250	110	下段右	ベビーリーフの種	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (ベビーリーフという作物の種があると誤解する。)	3-(3)				
251	111	下段中	[⑤開花]開花後は、枯れた花をこまめに摘むと長く花を咲かせる。	生徒にとって理解し難い表現である。 ([111ページ上段右]「写真全体」からみて「枯れた花をこまめに摘む」が理解し難い。)	3-(3)				
252	112	23 - 24	作物の場合は収穫量が減り、花の場合は数が極端に減ってしまいます。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (花は作物でないと誤解する。)	3-(3)				
253	113	5 - 6	発芽するときに土に水分が多い状態が続くと、根が水を吸いすぎて作物の内部が水ぶくれしたような状態になり、徒長しやすくなります。	生徒にとって理解し難い表現である。 (発芽するときには根がまだ出ていないため理解し難い。)	3-(3)				
254	113	7 - 9	高温多湿が続いていないか 真夏に土が高温になると苗が暑さにやられてしまいます。真夏の種まきはなるべく避け、風通しの良い場所に移すか、日よけなどの暑さ対策をするよ	生徒にとって理解し難い表現である。 (多湿の記載がなく理解し難い。)	3-(3)				
			うにします。						

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 2. 欠陥箇所

受理番号 105-110		学校 中学校		教科 技術・家庭		種目 技術・家庭（技術分野）		学年 1-3	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
255	114	1	家畜の飼育と水産生物の栽培・飼育 [116ページ1行]水産生物の栽培・飼育	生徒にとって理解し難い表現である。 （「水産生物の栽培・飼育」が2か所あることが理解し難い。）	3-(3)				
256	114	9	雌牛 めうし	不正確である。 （畜産用語の読み方として不正確である。）	3-(1)				
257	114	9	子ウシ [15行]子ウシ	表記が不統一である。 （[91ページ下段左]「子牛」と不統一である。）	3-(4)				
258	114	13 - 14	牧草のほかにトウモロコシやカルシウムを含む餌	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （牧草やトウモロコシにカルシウムが全く含まれていないと誤解する。）	3-(3)				
259	114	19 - 20	乳牛の飼育に適した温度は4～20℃です。およそ22℃以上になると乳牛は暑さでストレスを受け始める	学習上必要な出典が示されていない。	2-(10)				
260	114	21	ミストを使ったりして牛舎内の温度を下げます。	生徒にとって理解し難い表現である。 （「ミスト」の説明がなく理解し難い。）	3-(3)				
261	114	24 - 25	乳牛が病気にかからないようにするため、牛舎内の清掃、ふん尿の処理などにより清潔に保ちます。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （乳牛が病気にならないためだけと誤解する。）	3-(3)				
262	115	2	肉養鶏	誤記である。	3-(2)				
263	115	5 - 6	配合飼料のほか、ビタミンを含んだ作物	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （配合飼料に全くビタミンが含まれていないおよびビタミンを全く含まない作物が多数あると誤解する。）	3-(3)				
264	115	7	ゲージ [118ページ上段]ゲージ	誤記である。	3-(2)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 2. 欠陥箇所

受理番号 105-110		学校 中学校		教科 技術・家庭		種目 技術・家庭（技術分野）		学年 1-3	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
265	115	10	採卵鶏の飼育に適した温度は18～24℃です。	学習上必要な出典が示されていない。	2-(10)				
266	115	14 - 15	採卵鶏が産卵するためには、1日10時間以上の明るい時間が必要といわれています。	学習上必要な出典が示されていない。	2-(10)				
267	116	4	完全養殖	生徒にとって理解し難い表現である。 (説明がなく理解し難い。)	3-(3)				
268	116	5 - 6	養殖施設で人工ふ化したマグロで、これによりマグロ資源の減少を防ぐことが可能とされています。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「養殖施設で人工ふ化したマグロ」と「これによりマグロ資源の減少を防ぐ」の関係が理解し難い。)	3-(3)				
269	117	6 - 7	和牛は、明治時代以降に日本の在来種とヨーロッパから輸入した品種とを交配し、品種改良を重ねて生まれたものです。	不正確である。 (ヨーロッパから輸入した品種だけではない。)	3-(1)				
270	117	14	生物育成では、食物を安定して生産・供給 [18行]農薬の使用は、病虫害の発生を防ぎ、食物を安定して得る	生徒にとって理解し難い表現である。 ([76ページ4～6行]「私たち人間が、～食べ物、衣類、住居、エネルギー資源などを手に入れて、」 [119ページ2～3行]「生物育成の技術は、食料やバイオエタノールなどの燃料、木材などの材料の生産や	3-(3)				
				、花壇や緑地等の生活環境の整備など」からみて「食物」だけ記載されていることが理解し難い。)					
271	118	9 - 10	遺伝子組換えについては、病虫害や除草剤に強い作物をつくることで収穫量を増やすことができる	生徒にとって理解し難い表現である。 (除草剤に強い作物でなぜ収穫量を増やすことができるかが理解し難い。)	3-(3)				
272	118	上段	スイス、ニュージーランド、米国、オーストラリアなどの諸外国ではすでに妊娠ストールを廃止した国があります。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (記載の国では例外なく廃止されたと誤解する。)	3-(3)				
273	118	下段	クローン技術とは、単細胞を受精卵に移植することで、遺伝的に同じ個体をつくり出す技術	誤りである。 (「単細胞を受精卵に移植する」)	3-(1)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 2. 欠陥箇所

受理番号 105-110		学校 中学校		教科 技術・家庭		種目 技術・家庭 (技術分野)		学年 1-3	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
274	118	下段	クローン技術によって品質の高い家畜を大量につくり出せば、食糧問題などを解決できる	生徒にとって理解し難い表現である。 (大量の品質の高い家畜でどのようにして食糧問題が解決するか理解し難い。)	3-(3)				
275	118	下段	食糧問題	誤りである。 (食糧)	3-(1)				
276	119	14 - 16	日本では、年間約1,700万トンもの食品廃棄物が排出されていて、このうち、本来食べられるのに廃棄される食品ロスは、年間約500～800万トンも含まれていると推測されています(農林水産省「食品ロスの現状等」2013)。	最新のものをを用いておらず、学習上の支障を生ずるおそれがある。	2-(11)				
277	119	17 - 19	食料自給率は、先進国の中でも最低水準です。食生活の変化などともない、コメや野菜の摂取量が減り、肉や油脂類の摂取量が増えていて、	学習上必要な出典、年次が示されていない。	2-(10)				
278	119	22 - 23	コメの消費増加は、食料自給率を上げるだけでなく、水田の維持や管理にもつながります。	生徒にとって理解し難い表現である。 (コメの消費増加がなぜ食料自給率を上げるかの説明がなく理解し難い。)	3-(3)				
279	120	6 - 8	これらの資源は農業に有用であることから、チッ素とリンは回収して肥料に利用されるほか、二酸化炭素も植物の光合成の促進に利用されます。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (すでに一般的に利用されていると誤解する。)	3-(3)				
280	121	17	USDA (オーガニック認証)	生徒にとって理解し難い表現である。 (USDAの説明がなく理解し難い。)	3-(3)				
281	122	13	製品の設計・製作	生徒にとって理解し難い表現である。 (下段の図の左下付近の「製作品」に照らして「製品」は理解し難い。)	3-(3)				
282	122 - 173		[奇数ページの右欄] 2 電気の安全な 使い方を知ろう	誤記である。	3-(2)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 2. 欠陥箇所

受理番号 105-110		学校 中学校		教科 技術・家庭		種目 技術・家庭（技術分野）		学年 1-3	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
283	123 下段	表	[水 どのようにしてエネルギーを取り出しているか] 発電機のタービン	生徒にとって理解し難い表現である。 (発電機とタービンは異なる設備のため理解し難い。)	3-(3)				
284	124	3	コイルに電流が流れる現象	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (ファラデーの電磁誘導の法則について誤解する。)	3-(3)				
285	124	13 - 14	冷めた水蒸気はふたたび水となって復水器に戻る。 [同ページ 下段右 図 火力発電の基本構造の図]	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (復水器について誤解する。)	3-(3)				
			タービンから復水器の部分						
286	125	16 - 18	《参考》 イギリス、フランス、スペインなどでは、…2040年からディーゼル車とガソリン車の販売禁止を決定しています。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (販売禁止の内容や年について誤解する。)	3-(3)				
287	125	20 - 23	エネルギー変換効率とは、発電所で一次エネルギーから電気を取り出せる効率のことです。発電方式によって効率が違います。また、エネルギー変換効率について考えるときは、石油などを	生徒にとって理解し難い表現である。 (エネルギー変換効率について理解し難い。)	3-(3)				
			輸送するために必要なタンカーの燃料や発電所の建設費用、発電時の排熱などによる環境への影響などについても考える必要があります。						
288	125 下段	表	[発電方式] 天然ガス	生徒にとって理解し難い表現である。 (発電方式として理解し難い。)	3-(3)				
289	126	1 - 7	《参考》 ◇石油と同じように、天然ガスの場合、…省エネルギーにつながります。	不正確である。 (汽力発電とコンバインドサイクル発電が適切に区別されておらず、根拠に基づいて記載されていない。)	3-(1)				
290	127	1 - 3	(6)周波数 周波数の違う電気がある日本は、世界でも珍しい国です。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「周波数」とは何か理解し難い。)	3-(3)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 2. 欠陥箇所

受理番号 105-110		学校 中学校		教科 技術・家庭	種目 技術・家庭 (技術分野)	学年 1-3
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
291	127	8 - 19	日本で電気が使用されるようになったのは、1882年頃のことです。… そのため、日本では50Hzと60Hzという二つの周波数の電気がつくられるようになり、そのまま全国に広がっていきま	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (日本では1882年頃から50Hzや60Hzの電気をつくっていたと誤解する。)	3-(3)	
			した。			
292	128	2 - 3	2種類の金属を電解液が反応して起こる化学反応によって	生徒にとって理解し難い表現である。 (どのようなことか理解し難い。)	3-(3)	
293	128	表	[リチウム電池 特徴] 例) デジタルカメラ	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (リチウム電池が一般的にデジタルカメラに使われているように誤解する。)	3-(3)	
294	129	7	白熱電球は、2028年頃に製造が終わる予定です。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (全ての白熱電球の製造が終わるように誤解する。)	3-(3)	
295	129	表	[LED 特徴] 大きな電流を直接流すと壊れる。	生徒にとって理解し難い表現である。 (どのようなことか理解し難い。)	3-(3)	
296	129	9 - 11	LEDは、半導体 (N型とP型) と電子のはたらきによって発光します。N型にはマイナスの電気を帯びた電子が、P型にはプラスの電気を帯びた正孔と呼ばれる穴があって、電流が流れるとN	生徒にとって理解し難い表現である。 (LEDの発光のしくみについて理解し難い。)	3-(3)	
			型とP型の境界で電子が正孔に入り込んでエネルギーを光に変えます。			
297	129	9	電子 [同ページ 10行] 電子	表記が不統一である。	3-(4)	
			[同ページ 11行] 電子  [130ページ 上段 図] 自由電子 (3箇所)			

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 2. 欠陥箇所

受理番号 105-110		学校 中学校		教科 技術・家庭		種目 技術・家庭（技術分野）		学年 1-3	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
298	130 上段	図	自由ホール（3箇所）	生徒にとって理解し難い表現である。 （129ページ10行の「正孔」に照らして理解し難い。）	3-(3)				
299	130 上段	図	[LEDの発光についての説明図] 全体	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。	2-(17)				
300	134	表	[ドライヤ 特徴と注意点] 抵抗 [電磁調理器 特徴と注意点] 電気抵抗	表記が不統一である。	3-(4)				
301	135	16	回転運動を変えるしくみ	生徒にとって理解し難い表現である。 （17行の「回転運動を伝えるしくみ」に照らして理解し難い。）	3-(3)				
302	136	表	[平歯車 回転速度を変える方法] 接している二つの歯車の歯数を変える。 [はすば歯車 回転速度を変える方法]	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （歯車の径を変えることなく歯数を変えることで回転速度を変えることができると誤解する。）	3-(3)				
			接している二つの歯車の歯数を変える。 [チェーンとスプロケット 回転速度を変える方法]						
			二つのスプロケットの歯数を変える。 [かさ歯車 回転速度を変える方法] 接している二つの歯車の歯数を変える。						
303	136	表	[ウォームギヤ イラスト] はすば歯車 [ウォームギヤ 特徴・用途] はすば歯車	不正確である。	3-(1)				
			[ウォームギヤ 回転速度を変える方法] はすば歯車						
304	136	表	[ウォームギヤ 回転速度を変える方法] 歯数を変える	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （ウォームギヤの回転速度を変える方法について誤解する。）	3-(3)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 2. 欠陥箇所

受理番号 105-110		学校 中学校		教科 技術・家庭		種目 技術・家庭 (技術分野)		学年 1-3	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
305	136	表	[ラックとピニオン 特徴・用途] 回転運動を直線運動に変える。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (逆の動作もできるためラックとピニオンの特徴について誤解する。)	3-(3)				
306	136	表	[ラックとピニオン 回転速度を変える方法] ピニオンの歯数を変える。	生徒にとって理解し難い表現である。 (ラックとピニオンで回転運動を直線運動に変えるとき「ピニオンの歯数を変える。」ことで回転速度を変えるとはどのようなことか理解し難い。)	3-(3)				
307	137 中段	図	[リンク装置の図] 全体	不正確である。 (右上の囲みの図に照らして、左上の図及び1~4の動作の図は不正確である。)	3-(1)				
308	139	2 - 3	回転運動を往復運動に変える	生徒にとって理解し難い表現である。 (右図の電動歯ブラシの例では回転運動を往復運動に変換し、さらに往復運動を回転運動に変換しているため理解し難い。)	3-(3)				
309	139 上段右	図	[電動歯ブラシの図 左下付近] モーター	生徒にとって理解し難い表現である。 (4行の「モータ」に照らして理解し難い。)	3-(3)				
310	139	7 - 8	クランクの回転運動を、シリンダーに上下をはさまれたロッドの往復運動に変える	生徒にとって理解し難い表現である。 (「上下」は置き方によるので理解し難い。また、下図の車のエンジンの例では往復運動を回転運動に変換しているため理解し難い。)	3-(3)				
311	140 - 142		⑧機械部品 … ねじ (小ねじ・ボルト) … ②ナット、座金 (ワッシャ) …	全体として系統的に構成されていない。 (135ページからの「(9)動力伝達のしくみ」の学習内容として系統的に構成されていない。また、小項目の番号付けも系統的に構成されていない。)	2-(12)				
			… ③ばね … ④軸受け …						
312	140 中段	表	[メートルねじのサイズ M2 ピッチ] 0.5	不正確である。 (JIS B 1101, JIS B 1111, JIS B 1180に照らして不正確である。)	3-(1)				
313	140 中段	図	[ねじ山の図] 呼び (ねじ山の外側)	不正確である。	3-(1)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 2. 欠陥箇所

受理番号 105-110		学校 中学校		教科 技術・家庭		種目 技術・家庭 (技術分野)		学年 1-3	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
314	140 下段	表	[なべ小ねじ 特徴] M2からM8までの呼びのねじを指す。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (M2からM8までの呼びのねじをなべ小ねじというように誤解する。)	3-(3)				
315	142	表	[玉軸受け/ころ軸受け 特徴] 軸との接触面積が小さいので	生徒にとって理解し難い表現である。 (「軸との接触面積」は理解し難い。)	3-(3)				
316	143	8	JIS規格で定められています。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (個々の電気機器や電気部品の定格電圧や定格電流がJISで定められているように誤解する。)	3-(3)				
317	145	表	[分電盤 配線用遮断器] 設定された値以上の電流	不正確である。 (「以上の」は不正確である。)	3-(1)				
318	147	表	[ブレーキ装置 役割] ブレーキシューがタイヤに接すると	生徒にとって理解し難い表現である。 (「ブレーキシュー」とは何か理解し難い。また、148ページ23行の「タイヤのホイール」に照らして「タイヤ」は理解し難い。)	3-(3)				
319	149	18 - 19	1899年にスウェーデンのウォルデマール・ユングナーがニカド電池を発明すると、アメリカのトーマス・エジソンもニッケル蓄電池を発明しました。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (エジソンがニッケル蓄電池を発明した年について誤解する。)	3-(3)				
320	151	3 - 4	すりわりのサイズに合ったもの [同ページ 6行] すりわりをつぶしたり	生徒にとって理解し難い表現、図である。 (ねじ回しの先端を差し込む部分は「すりわり」だけではなく、また、図は十字穴を例に描かれているため理解し難い。)	3-(3)				
			[中段 安全 図 左側] ドライバと十字穴付きねじの図 (3つ)						
321	151 上段右	写真	[ねじ回しの写真] VESSEL 6300 (2箇所)	特定の商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)				
322	152	1	(イ)	生徒にとって理解し難い表現である。 (「(イ)」の意味について理解し難い。)	3-(3)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 2. 欠陥箇所

受理番号 105-110		学校 中学校		教科 技術・家庭		種目 技術・家庭（技術分野）		学年 1-3	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
323	152 上段右	写真	[ギヤボックスの写真] 写真に加えられた数字と矢印	生徒にとって理解し難い表現である。 (数字と矢印の関係について理解し難い。)	3-(3)				
324	153 下段右	写真	[はんだ吸い取り線 (ロゴ) HAKKO HAKKO CORPORATION	特定の商品宣伝になるおそれがある。	2-(7)				
325	155 下段	囲み	[中央付近 ダイオード] ダイオードの図記号	不正確である。 (JIS C 0617-5に照らして不正確である。)	3-(1)				
326	156 下段右	表	[参考 右側の表] 「アカ」と「赤」 「キイロ」と「黄」 「ムラサキ」と「紫」	表記が不統一である。	3-(4)				
327	156 下段右	図	[「抵抗器の端にテスト棒をあてて、 目盛を読む。」の図] 全体	生徒にとって理解し難い図である。 (「《参考》抵抗値」との関連について理解し難い。)	3-(3)				
328	157 上段右	図	[スイッチによる切り替え回路の回路 図] スイッチの図記号	不正確である。 (JIS C 0617-7に照らして不正確である。)	3-(1)				
329	157 下段右	図	[光センサ回路の3つの回路図] トランジスタの図記号 (3箇所)	不正確である。 (155ページ下段囲みのトランジスタの図記号に照らして不正確である。)	3-(1)				
330	157 下段右	図	[暗いときの電流の流れの図] ① ②	生徒にとって理解し難い表現である。 (「①」、「②」の表記の意味は理解し難い。)	3-(3)				
331	158	2	実験用基板を使った電気回路の設計の 学習を生かして [同ページ 5-6行] 《回路の設計》	生徒にとって理解し難い表現である。 (実験用基板を使った電気回路の設計は学習していないため、また、実験用基板は電気回路の試作に用いるため理解し難い。)	3-(3)				
			ブレッドボード、またはCADソフトウ ェアを使って、回路を設計します。						

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 2. 欠陥箇所

受理番号 105-110		学校 中学校		教科 技術・家庭		種目 技術・家庭 (技術分野)		学年 1-3	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
332	158 中段右		[部品 4行] 1KΩ	誤記である。 (K)	3-(2)				
333	160 中段左	囲み	[カム機構模型の製作手順 1] 座軸受け [同ページ 下段の図 左側] 軸受け	表記が不統一である。	3-(4)				
334	160 中段右	囲み	[カム機構模型の製作手順 2] 回転軸 [同ページ 中段左 囲み カム機構 模型の製作手順 3]	表記が不統一である。	3-(4)				
			カム軸 [同ページ 下段の図 左側] 回転軸						
335	161 中段左	囲み	[クランク機構模型の製作手順 3] クランク軸 [同ページ 下段の図 左側] 回転軸	表記が不統一である。	3-(4)				
336	162	表	[問題解決の流れ ②課題を設定する 右欄] 製品 [問題解決の流れ ④構想を具体化す る 右欄] 製品 [問題解決の流れ ⑥製作する 右欄] 製品	生徒にとって理解し難い表現である。 (同ページ3行の「製作品」に照らして理解し難い。)	3-(3)				
			[同ページ 8行] 製品						
337	163	5 - 7	①問題の発見 ●LEDライトが1つだけだと、部屋全体 を照らすには不十分だな。	生徒にとって理解し難い表現である。 (前提となる事柄が述べられておらず、162ページ3 -4行の「生活や社会の中から困ったことや便利にし たいことを発見して」に照らして理解し難い。)	3-(3)				
338	163	14 - 15	④構想の具体化 ●高輝度LEDの回路を試作・実験し、 回路図にかき表す。	生徒にとって理解し難い表現である。 (構想の具体化について、162ページの表に照らして 理解し難い。)	3-(3)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 2. 欠陥箇所

受理番号 105-110		学校 中学校		教科 技術・家庭		種目 技術・家庭（技術分野）		学年 1-3	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
339	163	16 - 17	⑤設計 ●必要な部品と工具を表にまとめ、製作の手順を確認する。	生徒にとって理解し難い表現である。 (162ページの表に照らして「必要な部品と工具を表にまとめ、製作の手順を確認する」がなぜ設計なのか、また、回路図や部品図、作業の計画が示されておらず、設計した製作品品について理解し難い。)	3-(3)				
340	164 下段右	囲み	[作品発表レポート] 製品 [166ページ 下段 囲み 作品発表レポート]	生徒にとって理解し難い表現である。 (同ページの8行及び166ページの7行の「製作品品」に照らして理解し難い。)	3-(3)				
			製品						
341	165	14	CADソフトウェアで設計して	生徒にとって理解し難い表現である。 (設計は次の手順であるため、構想の具体化の内容として理解し難い。)	3-(3)				
342	165	15 - 16	⑤設計 ●必要な部品と工具を表にまとめ、製作の手順を確認する。	生徒にとって理解し難い表現である。 (162ページの表に照らして「必要な部品と工具を表にまとめ、製作の手順を確認する」がなぜ設計なのか、また、回路図や部品図、作業の計画が示されておらず、設計した製作品品について理解し難い。)	3-(3)				
343	167	5 - 9	①問題の発見 ●軽くて丈夫な合板を利用しよう。ギヤボックスで動くようにしよう。 ●カム機構やクランク機構で動くロボットをつくりたいけど、ペーパークラ	生徒にとって理解し難い表現である。 (前提となる事柄が述べられておらず、162ページの3-4行の「生活や社会の中から困ったことや便利にしたいことを発見して」に照らして理解し難い。)	3-(3)				
			フトだと強度が足りなくて、大きなロボットは作れないな。						
344	167	17 - 18	⑤設計 ●製作に必要な材料と工具を確認する。	生徒にとって理解し難い表現である。 (162ページの表に照らして「製作に必要な材料と工具を確認する」がなぜ設計なのか、また、回路図や部品図、機構や筐体の設計図、作業の計画が示されておらず、設計した製作品品について理解し難い。)	3-(3)				
345	168	1 - 5	[⑥製作（クランク機構の例）] 全体（本文、図）	課題を製作するにあたり、これまでに学んだ工具や機器を安全・適切に利用する技能が活用されておらず、学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容C(2)のア「安全・適切な製作、実装、点検及び調整等ができること」)	2-(1)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 2. 欠陥箇所

受理番号 105-110		学校 中学校		教科 技術・家庭		種目 技術・家庭（技術分野）		学年 1-3	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
346	169	2	全日中の「全国ロボコン大会」	生徒にとって理解し難い表現である。 (略称のため理解し難い。)	3-(3)				
347	169	4	(URL:ajgika.ne.jp/~robo/)	学習上の参考に供する情報を参照させるウェブページのアドレスは、発行者が管理するものでない。	2-(18)				
348	170	1 - 2	⑤設計 ●必要な部品と工具を表にまとめ、製作の手順を確認する。	生徒にとって理解し難い表現である。 (162ページの表に照らして「必要な部品と工具を表にまとめ、製作の手順を確認する」がなぜ設計なのか、また、回路図や部品図、機構や筐体の設計図、作業の計画が示されておらず、設計した製作品について理解し難い。)	3-(3)				
349	172	表	[太陽光発電の技術 プラス面の例] ○モータなどを用いないため、騒音が発生しない。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「モータなどを用いない」は理解し難い。)	3-(3)				
350	172	11	天然ガス (LNG)	不正確である。 (「天然ガス」と「LNG」の対応は不正確である。)	3-(1)				
351	173 上段	図	[3つの円グラフ] 全体	生徒にとって理解し難い図である。 (タイトルや説明がなく本文との関連や理解を深めたい事柄について理解し難い。)	3-(3)				
352	173 上段	図	[3つの円グラフ] 再エネ等 (※) (3箇所) [左下付近] ※再エネ=再生可能エネルギー	生徒が誤解するおそれのある表現、図である。 (グラフの「再エネ等」の範囲には水力が含まれていないため水力は再生可能エネルギーではないように誤解する。)	3-(3)				
353	173 上段	図	[右付近 2019年度の円グラフ] (最新)	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (最新のデータであるように誤解する。)	3-(3)				
354	175	10	(1) 情報通信ネットワーク (以下 3ページ) (1) 情報通信ネットワークの発達	相互に矛盾している。	3-(1)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 2. 欠陥箇所

受理番号 105-110		学校 中学校		教科 技術・家庭		種目 技術・家庭 (技術分野)		学年 1-3	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
355	176	上表	固定電話新聞	誤記である。	3-(2)				
356	176	下表	ソーシャルネットワークサービス (以下 3行 ソーシャル・ネットワーキング・サービス)	表記が不統一である。	3-(4)				
357	177	右上図	アナログ温度計 シンワ	特定の営利企業の宣伝になるおそれがある。	2-(7)				
358	180 - 181	12 - 12	コンピュータ本体には、次のような装置が組み込まれています。 (イ) 記憶装置… (ウ) CPU… (エ) 制御装置…	誤りである。 (組み込まれた装置の範囲)	3-(1)				
			(オ) ディスプレイ… (カ) キーボード… (キ) マウス… (ク) プリンタ…						
359	180	15 - 17	主記憶装置は、ストレージまたはROM (…) ともいい、プログラムやデータを永続的に記憶できる装置です。 (以下 20-21行 補助記憶装置はメモリまたはRAM (…	誤りである。 (記憶装置の役割)	3-(1)				
			) ともいい、コンピュータが情報を処理するときにデータを一時的に記憶する装置です。)						
360	180	19	ROMはハードディスク (…) として製品に組み込まれています。	誤りである。 (ROMとハードディスク)	3-(1)				
361	180 - 181	23 - 2	(ウ) CPU…演算装置ともいい、様々なデータ処理を行います。… (エ) 制御装置…CPUにおさめられており、記憶装置や演算装置の制御を行います。	生徒にとって理解し難い表現である。 (制御装置が、CPUの中からCPUを制御していることになる。)	3-(3)				
362	183	右上図	サーバー (以下 16行 サーバ)	表記が不統一である。	3-(4)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 2. 欠陥箇所

受理番号 105-110		学校 中学校		教科 技術・家庭		種目 技術・家庭 (技術分野)		学年 1-3	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
363	183	13	複数のコンピュータがつながった情報通信網のことをインターネットといいます。	不正確である。 (この説明ではインターネット以外も該当する)	3-(1)				
364	183	23 - 24	文部科学省のWebページを閲覧したいとき、私たちは文部科学省のホームページにアクセスします。	生徒にとって理解し難い表現である。 (Webページとホームページの違い)	3-(3)				
365	184	上表	SSL httpsから始まるホームページで使われる。	生徒にとって理解し難い表現である。 (httpsから始まるホームページ)	3-(3)				
366	185	上囲み	文部科学省のWebページにIPアドレス(202. 232. 190. 211)でアクセスしてみよう。	不正確である。 (該当アドレスは繋がらない)	3-(1)				
367	185	11 - 13	Webページを表示するには、主に次の三つの方法があります。 ◇WebページのURLを直接入力する。 ◇検索エンジンを使い、キーワードを入力して検索する。	不正確である。 (三つの方法)	3-(1)				
368	192	1	(3)情報通信のユニバーサルデザイン (以下 2行 情報のユニバーサルデザイン)	生徒にとって理解し難い表現である。 (デザインする対象)	3-(3)				
369	193	6	プログラム言語 (以下 同ページ13行ほか プログラミング言語 同ページ17-18行 プログラム言語)	表記が不統一である。	3-(4)				
			16ページ表内 プログラム言語)						
370	198	中段右	タイトルバー Microsoft micro:bit (以下 同ページ下段左 224、225、228ページ)	特定の営利企業の宣伝になるおそれがある。	2-(7)				
371	199	9 - 10	インターネットブラウザ (以下 194ページ表 Webブラウザ 197ページ8行 ブラウザ)	表記が不統一である。	3-(4)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 2. 欠陥箇所

受理番号 105-110		学校 中学校		教科 技術・家庭		種目 技術・家庭 (技術分野)		学年 1-3	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
372	200	上囲み	<script src="program". js>	不正確である。 (二重引用符)	3-(1)				
373	203 - 206	全体	プログラミングの例 (以下 207-208ページ 題材例)	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容D(2)「ネットワークを利用した双方向性のあるコンテンツのプログラミングによって解決する活動を通して」)	2-(1)				
374	206	中図	クイズと解答の命令文 クイズの回答に対する命令文	表記が不統一である。	3-(4)				
375	208	2	「今日もがんばったね!」と表示 (以下 プログラム 今日も一日がんばったね!)	表記が不統一である。	3-(4)				
376	210	右上図	写真左上 ISUPET (以下 224ページ右上 IS PET)	特定の営利企業の宣伝になるおそれがある。	2-(7)				
377	210	中段右	基板に micro:bit	特定の商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)				
378	211	上囲み	アクティビティ図 (以下 下囲みプログラム 点灯後5秒経つと消灯)	相互に矛盾している。	3-(1)				
379	211	下囲み	右上に 1 (micro:bit)	特定の商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)				
380	212	下囲み	完成したコンテンツをインターネット 上で公開しよう。	生徒にとって理解し難い表である。 (何を公開するのか)	3-(3)				
381	215	下囲み	走行時に発光ダイオードを点滅させる (以下 プログラム 「ずっと」のループ)	相互に矛盾している。	3-(1)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 2. 欠陥箇所

受理番号 105-110		学校 中学校		教科 技術・家庭		種目 技術・家庭 (技術分野)		学年 1-3	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
382	219	表右下	人工知能(AI)の技術 マイナス面の例 △事故などの問題が起きたとき、責任はプログラミングした人が負うことになる。	不正確である。 (常にプログラマの責任になるとは限らない)	3-(1)				
383	220	18	1942年に…アシモフが執筆した『われはロボット』	不正確である。 (1942年)	3-(1)				
384	222	13	1. 技術による問題解決の手順を確認しよう。 (以下 3ページ右下 1. 技術による問題解決の手順を確認しよう)	表記が不統一である。	3-(4)				
385	223	11	土壌の湿度を計測する [15行]土壌湿度 [下段右 図]土壌の湿度を計測 [224ページ4行]土壌湿度 [224ページ5行]土壌湿度	生徒にとって理解し難い表現である。 (土壌の湿度が理解し難い。)	3-(3)				
			[224ページ9行]土壌湿度 [225ページ 上段右]土壌の湿度を計測						
386	223	15	基盤	誤記である。 (盤)	3-(2)				
387	224	1 - 5	[自動かん水装置の製作] 全体 (本文, 写真)	生徒にとって理解し難い表現, 写真である。 (回路図, 機器や部品の接続図がないため, 製作品について理解し難い。)	3-(3)				
388	224	9	土壌湿度センサが、水位(しきい値500)を計測する。	生徒にとって理解し難い表現である。 (土壌湿度センサが水位を計測することおよび「しきい値500」が理解し難い。)	3-(3)				
389	224	10	点滅する。	生徒にとって理解し難い表現である。 (223ページ下段右のプログラムのアクティビティ図の「LEDを2秒点灯させる」及び224ページ下段のプログラムの②の部分に照らして理解し難い。)	3-(3)				
390	225	下囲み	プログラム 追加した機能を表す文に赤い矢印	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (他にも追加された機能があるが矢印が無い)	3-(3)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 2. 欠陥箇所

受理番号 105-110		学校 中学校		教科 技術・家庭		種目 技術・家庭 (技術分野)		学年 1-3	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
391	226	5	「どこでも使える便利なライトがほしいな」	生徒にとって理解し難い表現である。 (222ページの5-6行の「技術的な視点に立って問題を見つけ」に照らして問題の発見について理解し難い。)	3-(3)				
392	226	6 - 10	②課題の設定と構想 ●「移動しやすいように、電源には乾電池を使おう」 ●「ベースは、加工しやすい木材を使おう」	生徒にとって理解し難い表現である。 (課題の設定について理解し難い。)	3-(3)				
			●「できるだけコンパクトにするために、LEDモジュールを使おう」 ●「制御用コンピュータを使って、制御できるようにしよう」						
393	226	16 - 20	◇必要な材料、部品、機器	不正確である。 (前板、後板の記載がない。)	3-(1)				
394	226	左下囲み	必要な材料、部品、機器 (以下 223ページ 必要な機器、部品)	表記が不統一である。 (乾電池の有無)	3-(4)				
395	226 下段右	図	[プログラムのアクティビティ図] Aボタンをおす Bボタンをおす  [227ページ ミニセンサライトの製作 ] 全体 (本文, 写真)	生徒にとって理解し難い表現である。 (回路図, 部品や機器の接続図, 筐体の設計図が示されていないため, 製作品について理解し難い。)	3-(3)				
396	227	5	固定しする	誤植である。 (し)	3-(2)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。